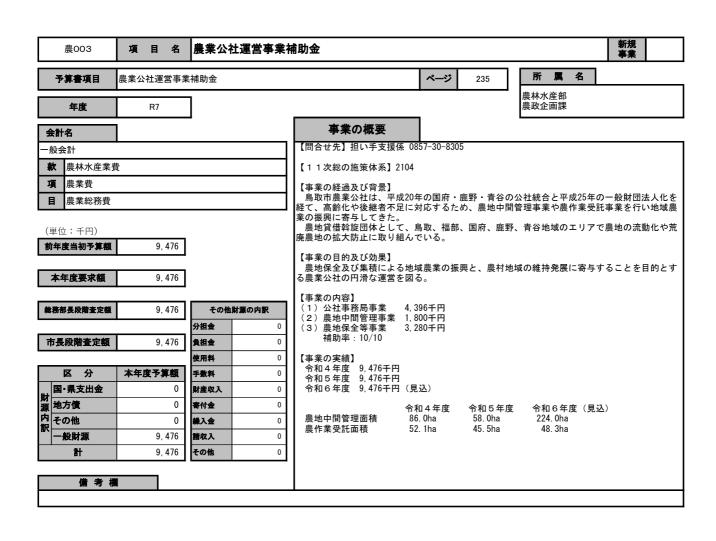
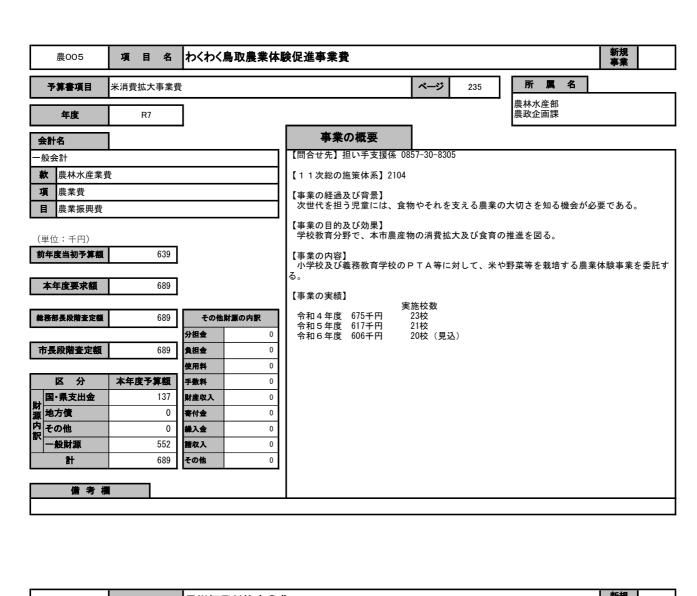


$ldsymbol{le}}}}}}$	農002	項	目	名	新規就農営農支持	妥事業費 事業
	予算書項目	次代の別	豊業を	を担う	若者育成対策事業費	ページ 235 所 属 名
	年度		R7			農林水産部農政企画課
ź	è 計名					事業の概要
—f	般会計					【問合せ先】担い手支援係 0857-30-8305
ŧ	農林水産業費	Ì				
Ţ	夏 農業費					➡ 【事業の経過及び背景】
F	農業総務費					■ ★字本の性温のい目また。 新規就農者の定着を図るため、経営が不安定な就農初期の支援策として経営開始資金等の交付や就農時の負担軽減のための農地賃借料助成、機械施設導入に係る経費助成を行う。
()	単位:千円)					【事業の目的及び効果】 新規就農した青年等の就農初期の経営を支援することで、就農時の負担軽減を図るととも
前	「年度当初予算額		20,	682		に、安定経営につなげる。
	本年度要求額		11,	101		【事業の内容】 (1) 経営開始資金 2人(国10/10) 2,250千円 (2) 農地賃借料助成金 4人(市10/10) 518千円 」(3) 経営発展支援事業 1人(国1/2・県1/4) 3,750千円
総	務部長段階查定額		11,	101	その他財源の内訳	(4) 就農応援交付金 1人(県2/3・市1/3) 1,200千円
_					分担金 (○
Ħ	卜長段階査定額		11,	101	負担金	Д
_					使用料	○
	区分	本年度	手	種	手数料	
8+	国·県支出金		9,	733	財産収入	
源	地方債			0	寄付金	
内訳	その他			0	繰入金	
D/	一般財源		1, 3	368	諸収入	
	ā l		11,	101	その他	









次世代農業推進事業費 目 名 農007 項 名 ページ 予算書項目 次世代農業推進事業費 235 農林水産部 農政企画課 年度 事業の概要 会計名 【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304 - 般会計 款 農林水産業費 【11次総の施策体系】2104 ●実施計画 項 農業費 【事業の経過及び背景】 農家の高齢化により担い手不足や耕作放棄地の増加等、一次産業の衰退が懸念される中、ス 目 農業振興費 一ト農業の導入による省力化・効率化による高収益な農業経営が求められている。 【事業の目的及び効果】 (単位:千円) 本市農業が抱える課題が多くある中、先進的な農業生産技術やICTを活用した新技術の導 前年度当初予算額 965 入による作業の効率化・軽減化、また、本市の自然エネルギーの農業への活用研究などに取り 組むことで、新たな農業の担い手の確保につなげるとともに、本市の農業の振興を図る。 本年度要求額 1, 595 【事業の内容】 JGAP普及業務(営農アプリ導入運用支援) 総務部長段階査定額 1, 430 その他財源の内訳 【事業の実績】 令和4年度 2,330千円 令和5年度 2,000千円 分担金 0 令和6年度 965千円 (見込) 市長段階査定額 1, 430 負担金 0 0 使用料 本年度予算額 0 区分 手数料 国·県支出金 0 715 財産収入 地方債 Λ 寄付金 ٥ その他 0 0 繰入金 715 0 一般財源 諸収入 1, 430 その他 0 計 備考欄

新規事業 農008 鳥取市農業生産拡大に向けたスマート農業推進事業費 0 B 属 名 予算書項目 次世代農業推進事業費 ページ 所 農林水産部 農政企画課 年度 R7 事業の概要 会計名 【問合せ先】担い手支援係 0857-30-8305 款 農林水産業費 【11次総の施策体系】2104 ●実施計画 項 農業費 最家の高齢化等による担い手の減少や耕作放棄地の増加が進んでおり、持続可能な農業を実現するための方策として、省力化技術の開発・導入が課題となっている。 農業振興費 目 【事業の目的及び効果】 (単位:千四) 農作業の負担軽減や技術伝承に資する農業機械・設備(スマート農機)や、パソコン、タブ ルリース・ストーなが、LATILACINEスターの版本版版 RAME (ヘメード展版) に、ハノコン、オットレット等の電子機器で作業管理や環境を測定する生産管理システム等の導入を行う農業者を支援することで、スマート農業を普及拡大させ本市の農業振興を図る。 前年度当初予算額 0 13, 350 本年度要求額 【事業の内容】 作業及び農業経営の効率化を図るためのICTやロボット技術を活用した機械及び設備の導 入経費等に対する補助金 | 計算等に対する情報を | 補助率: 1/2 (県: 1/3、市: 1/6) | 補助上限額 | ※共同利用の上限額は2倍 ・個人 : 4,500千円 ・法人等: 10,500千円 13. 350 その他財源の内訳 総務部長段階査定額 市長段階査定額 13, 350 負担金 〇実施内容 0 鹿野(1件) ドローン 気高(1件) 直進アシスト付田植機 使用料 本年度予算額 区分 0 手数料 国府(2件)直進アシスト付トラクター、 ドローン 鳥取(2件)自動灌水制御装置、ハウスファーモ(環境モニタリング装置) 国·県支出金 8 899 財産収入 0 0 地方債 寄付金 【事業の実績】 令和 4 年度 22, 182千円 その他 4, 451 4, 451 繰入金 令和5年度 22,018千円 令和6年度 12,575千円(見込) 一般財源 0 0 諸収入 その他 0 計 13, 350 ※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金

鳥取市戦略的園芸品目(イチゴ「とっておき」)総合対策事業費 項 目 名 農009 所 属 名 鳥取市戦略的園芸品目(イチゴ「とっておき」)総合対策事業費 ページ 予算書項目 農林水産部 年度 農政企画課 事業の概要 会計名 【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304 -般会計 款 農林水産業費 【11次総の施策体系】2104 項 農業費 【事業の経過及び背景】 農業の生産現場では、産地競争力の強化が求められており、より高収益な施設園芸品目等への転換や規模拡大の取組が急務となっており、その中において、イチゴは生食用の需要の増加による高価格での取引が増加するなど、有望な品目となっている。 平成30年10月には県オリジナル品種のイチゴ「とっておき」が品種登録されたことから、イチゴ「とっておき」を核としたイチゴ産地化を強力に推進し、農業生産額並びに農業所得の拡出を図る 目 農業振興費 (単位:千円) 前年度当初予算額 744 大を図る。 【事業の目的及び効果】 鳥取県の戦略的園芸品目(イチゴ「とっておき」)総合対策事業を活用し、光合成促進機の 導入を支援することで、生産基盤の強化を図り、「とっておき」の安定供給と産地化を目指 本年度要求額 1, 764 総務部長段階査定額 1, 764 その他財源の内訳 【事業の内容】 分担金 0 生産・技術向上支援事業)補助率:1/2(県1/3・市1/6) 光合成促進機導入の導入(質露町、六反田) ①368千円(事業費735千円×補助率1/2) ②596千円(事業費1,192千円×補助率1/2) 市長段階査定額 1, 764 0 使用料 0 ③800千円 (事業費1,600千円×補助率1/2) 区分 本年度予算額 0 手数料 国·県支出金 0 【事業の実績】 1 175 財産収入 財地方債 令和4年度 1,073千円 0 0 寄付金 683千円 736千円 (見込) 令和5年度 令和6年度 その他 0 繰入金 0 589 諸収入 0 一般財源 1,764 その他 0 備考欄

	農010	項	目	名	鳥の農場	文化交流》	前造事業費 事業
	予算書項目	鳥の農	場文	化交流	記創造事業費		ページ 237 所属名
	年度		R7				農林水産部農政企画課
1	会計名						事業の概要
-	·般会計						【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304
- 1	款 農林水産業費	Ì					【11次総の施策体系】2104、2204 ●実施計画
	項 農業費						【事業の経過及び背景】
	目 農業振興費						特定非営利活動法人「鳥の劇場」は、市から旧鹿野小学校校舎及び幼稚園園舎を借受け、演
(単 位:千円)						劇公演を中心に多彩なプログラムを提供する「鳥の演劇祭」を毎年開催するなど、本市の文化芸術の振興、国内外への発信、主に鹿野地域の賑わい創出に寄与している。 本市は、鳥の劇場、鳥取県、地域住民などと連携し、「鳥の劇場」の舞台芸術を核とした地域の活性化に向けて取組を推進している。
19	前年度当初予算額		3,	000			
							【事業の目的及び効果】 鳥の劇場で行われている「舞台芸術」は地域のかけがえのない文化であるため、これらを活
	本年度要求額		3,	000			用した新たな農業振興の創造を図るため、農政課題とその解消の方策について舞台演出脚本等
							▼ を手掛けると同時に県内外において公演、集客賑わいを創出して農産物の生産振興及び販路拡
*	8務部長段階査定額		3,	000	その他財	原の内訳	
_					分担金	0	【事業の内容】 (1) 鳥の農場舞台公演委託事業
ī	市長段階査定額		3,	000	負担金	0	農政課題をテーマとしたワークショップ及び舞台公演 ※耕作放棄地解消と有機栽培(一部丸由百貨店での販売)
					使用料	0	一式 1,000千円
	区分	本年	度予算	库額	手数料	0	(2) 鳥の農場舞台マルシェ委託事業 演劇祭にあわせたマルシェ及び食材提供含む農産物販促等
۵.	国·県支出金		1,	500	財産収入	0	一式 1,000千円
財源	地方債			0	寄付金	0	(3) 鳥の農場新商品開発コラボチャレンジ支援事業 地域特産品で新商品を開発、古民家で飲食店・キャストを通じて広く新商品PRの実施
内	その他			0	繰入金	0	一式 1,000千円
訳	一般財源		1,	500	諸収入	0	【事業の実績】
	BH BH		3,	000	その他	0	令和5年度 3,000千円 令和6年度 3,000千円 (見込)
							□ 中間の平反 3,000千円(兄込)

畑地化促進支援事業費 項 目 名 農011 属 名 ページ 予算書項目 畑地化促進支援事業費 237 農林水産部 年度 農政企画課 事業の概要 会計名 【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304 _ -般会計 款 農林水産業費 【11次総の施策体系】2104 項 農業費 【事業の経過及び背景】 【事業の経過及び育景】 主食用米の生産調整により、水稲以外の品目として麦・大豆や多収品種の飼料用米等への作 付転換を定着させていくため、主に中山間地域において畑作物の産地づくりや農地利用の団地 化により生産性を高めるとともに、5年水張ルールにより水田・畑地など維持用途によっては 令和9年度以降滅額見込みの水活直払交付金に頼ることなく農地の維持・管理と生産者の所得 目 農業振興費 (単位:千円) の向上を図る必要がある。 前年度当初予算額 3,000 【事業の目的及び効果】 知作物の産地づくりに取り組む地域を対象に、団地化やブロックローテーションの体制構築等、モデル的に調整会議を組織し、交付対象水田若しくは畑地化として維持するのか見極め主に中山間地域における産地づくりと農地保全を図る。 本年度要求額 3,000 総務部長段階査定額 1,500 その他財源の内訳 【事業の内容】 (1) 団地化・ブロックローテーションに向けた関係者間の農地利用調整 (2) 団地化・ブロックローテーションの実施に向けたほ場調査 (3) 畑地化による畑作物の収量向上等実証・分析 分担金 0 市長段階査定額 1,500 負担金 0 (4) 体系構築のための実証栽培 使用料 0 (対 象 者) 地域農業再生協議会 (補 助 率) 定額 10/10 (補助上限) 1,500千円 区分 本年度予算額 0 手数料 国·県支出金 0 1 500 財産収入 財地方債 0 0 寄付金 【事業の実績】 令和6年度 1,500千円(見込) その他 0 繰入金 0 0 0 一般財源 諸収入 1,500 その他 0 備考欄

予算書項目	ともに目指す担い	手強化支援事業費	ページ 237 所 属 名
年度	R7]	農林水産部 農政企画課
会計名			事業の概要 【問合せ先】担い手支援係 0857-30-8305
款 農林水産業計 項 農業費 目 農業振興費 (単位:千円) 前年度当初予算額	0 29, 223		【1 1 次総の施策体系】2104 ●実施計画 【事業の経過及び背景】 本市では農地の遊休化、農業者の高齢化が進行する状況である。その中で生産規模拡大等を目指す意欲ある農業者が作成する計画(プラン)に対し支援を行うことで、地域農業の振興、活性化、農業者の所得向上を図ってきた。県事業の新設に伴い、令和6年度までの「みんなでやらいや農業支援事業」から本事業に移行した。 【事業の目的及び効果】 意欲ある農業者、農業集団等が目的達成のために作成したプランに位置付けた取組に対し支援を行い、地域農業の振興や活性化を図る。
総務部長級階査定額 市長段階査定額 区分 国・県支出金 地方債	29,064 29,064 本年度予算額 29,064 0	その他財源の内配 分担金 負担金 使用料 手数料 財産収入 寄付金 編入金	(ジャンプアップタイプ) 個人 12,000千円、法人等 24,000千円 (ジャンプアップタイプ) (ジャンプアップアップアップアップアップアップアップアップアップアップアップアップアップ
一般財源 計 備 考 相	29,064	育収入 その他	

項 目 名 ともに目指す担い手強化支援事業費(重点支援地方交付金)

農012

農013	項目名	温暖化対策に係る	新品目等チャレンジ実証事業	 業費				新規事業	0
予算書項目	温暖化対策に係る	新品目等チャレンジ実証事	事業費	ページ	237	所	名	•	
年度	R7			_		農林水産 農政企画			
会計名			事業の概要						
一般会計			┃┃【問合せ先】生産振興係 0857 ┃┃	'-30-8304					
款 農林水産業費	ŧ		【11次総の施策体系】2104						
項 農業費			┃┃ ┃┃【事業の経過及び背景】						
目 農業振興費			世界的な気候変動による温暖でも高温障害に強い品種や温暖						市におい
(単位:千円) 前年度当初予算額 本年度要求額 総務部長段階査定額 市長段階査定額 区 分 国・県支出金 地方債 その他 一般財源 計	1,000 1,000 1,000 本年度予算額 500 0 500 0 1,000	その他財源の内駅 分担金 0 負担金 0 使用料 0 手敷料 0 財産収入 0 寄付金 0 線入金 500 諸収入 0 その他 0	【事業の目的及び効果】 再エネ(温泉)を活用し、記入するため、栽培裏取型を活用してう。なることから、鳥取型な園芸品目 ・ 業の内容】 (1)農業者、農業法人等(※別、2)補助率。2/3 ※内部:県1/3(補助対市1/3) ※その他財源の繰入金は、ふる	また、スティック また 東京 また、スティック また	芸施設にて更に 表表を図る。 とした栽培 とした を変した を変した を変した を変した とこれ を変した を変した を変した を変した を変した を変した を変した を変した を変した を変した を変して を を変して を変して を変して を変して を変して を変して を変して を変して を変して を変して を変し を変して を変し を と を と と	は農開始する に安価で耐久 ミ証をする者 ほに要する経	際に設備技 性に優れが とする)	受資が大き	な負担と

農014	項	目 名	麒麟のまちうまいも	もん販路拡大事業費 新規 マ
予算書項目	麒麟の記	まちうまいっ	もん販路拡大事業費	ページ 237 所 属 名
年度		R7]	農林水産部
会計名			_	事業の概要
一般会計				【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304
款 農林水産業費	ŧ			
項 農業費				━┃┃ ┃【事業の経過及び背景】
目 農業振興費				■ 食の「安全・安心」が求められている中、本市の魅力ある農林水産物等をマルシェや試食宣伝・商談会などを通して関西圏を中心にPRしてきた。しかしながら、潜在的な需要はあるも
(単位:千円)				■ 1
前年度当初予算額		0		進していく必要がある。
本年度要求額		11, 505		【事業の目的及び効果】 県内外のバイヤーの実需を把握し、集荷から販売までのトータルでの販路開拓を行うとともに、主に関西圏においてマルシェの開催や商談を通して広域的なPR活動を行い、麒麟のまち圏域の農林水産物等の知名度アップを図る。
総務部長段階査定額		10, 838	その他財源の内訳	【事業の内容】
	1	1		0 ┃ ┃ (1) とっとり旬菜マルシェ等開催業務 ┃ (2) 麒麟のまち特産品商談業務
市長段階査定額		10, 838	~==	▲ 【(3) 米の流通及び消費拡大業務
区分	太年度	予算額		0 (4) 麒麟のまち賑わい創出事業 (5) ふるさとの味祭り(農産物フェスタ)開催事業
国・県支出金	本十月	5. 130		♥┃
B+		0, 100	<i>,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,</i>	
地方債		0		天旭内谷 0 マルシェ 31回(大阪24回・兵庫2回・岡山5回)
一般財源		5, 708	請収入 0	──
#H		10, 838	その他 0	0

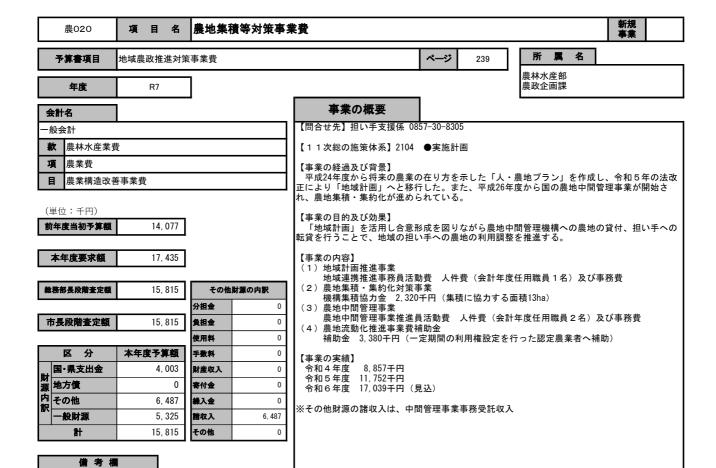
目 名 畜産振興対策事業費 農015 項 属 名 予算書項目 畜産振興対策事業費 ページ 237 農林水産部 年度 農政企画課 事業の概要 会計名 【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304 _ -般会計 款 農林水産業費 【11次総の施策体系】2104 項 農業費 【事業の経過及び背景】 TPPや日EU・EPA(日EU経済連携協定)の影響が懸念される畜産業において、畜 目 畜産業費 産農家が持続的に安定生産が行えるよう、経営力強化につながる支援が求められている。 【事業の目的及び効果】 (単位:千円) 優良な牛を育てる農家を支援することで畜産振興及び鳥取和牛のブランドカを高め、より一 4, 882 前年度当初予算額 層の消費拡大を図る。 【事業の内容】 (1) 肉用牛放牧奨励事業(補助率:1/10) 公共放牧場に放牧される繁殖牛の放牧料の一部を助成する。 (2) 肥育素牛安定導入対策事業事業(補助率:1/6) JAが肥育農家に肥育を目的として素牛を貸し付けた場合、導入から出荷までの利息の一部 本年度要求額 5, 447 総務部長段階査定額 5, 447 その他財源の内訳 を助成する。 (3) 肉用牛・乳用牛経営体質強化対策事業 (補助率: 1/20) 配合飼料の購入にあたり、当該年度の輸入原料平均価格と直近3か年度の輸入原料平均価格 分担金 0 市長段階査定額 5, 447 負担金 0 との差額を補填する。 使用料 0 【事業の実績】 区分 本年度予算額 手数料 0 令和 4 年度 4,092千円 令和 5 年度 3,492千円 令和 6 年度 4,882千円(見込) 国·県支出金 0 0 財産収入 財地方債 0 0 寄付金 その他 0 繰入金 0 一般財源 5, 447 諸収入 0 5, 447 計 その他 0 備考欄

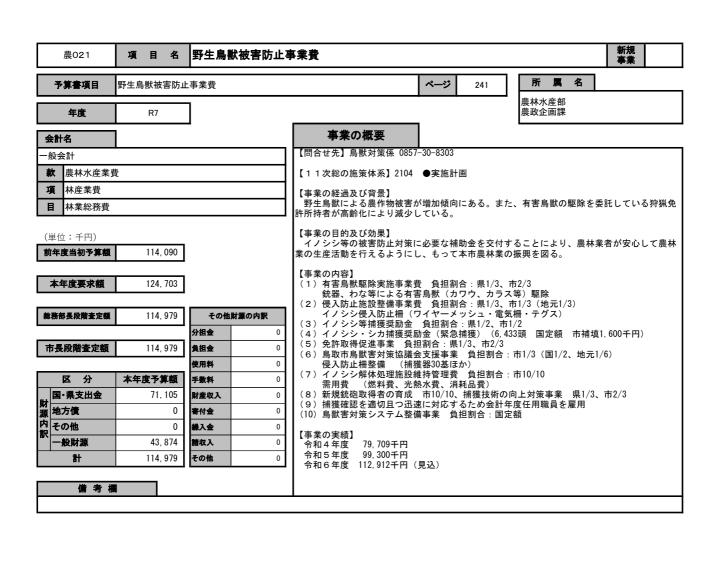
農016	項目名	和牛再生促	進事業費					新規 事業	
予算書項目	畜産振興対策事業	美 費		ページ	237	所	属 名		
年度	R7	1				農林水農政企			
会計名		-	事業の概要						
一般会計			【問合せ先】生産振興係 0	857-30-8304					
款 農林水産業費			【11次総の施策体系】21	04					
項 農業費									
目 畜産業費			現在、鳥取和牛のブラン生産及び肉牛の出荷頭数の						
(単位:千円)			振興に関する条例」が制定を受け、さらに和牛を本市	され、生産が	ら流通及び販	売までき	「和牛産		
前年度当初予算額	1, 292		【事業の目的及び効果】 畜産を取り巻く経営環境	- おけかししっ	·쌍··›스 (F	그 속도 다 씨	# # 道 1 士	セナ 仁 ニー	トマ 原本
本年度要求額	1, 292		的に生産者の経営体質を強 和牛の販路拡大につなげる	化するととも					
総務部長段階査定額	1, 292	その他財源の	【事業の内容】 繁殖雌牛導入に伴う助成 R7事業費 5,384千円(外 県:861千円、市:431千	部導入4頭、	自家保留4頭	i)			
市長段階査定額	1, 292	負担金	の「事業の実績」						
		使用料	0						
区分	本年度予算額	手数料	0	(見込)					
国-県支出金財	861	財産収入	0						
地方債	0	寄付金 繰入金	0						
記したの他	431	静収入	0 0						
計	1, 292	その他	0						

新規 事業 目 名 鳥取地どりブランド生産拡大支援事業費補助金 農017 項 所 属 名 予算書項目 畜産振興対策事業費 ページ 237 農林水産部 年度 農政企画課 事業の概要 会計名 【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304 -般会計 款 農林水産業費 【11次総の施策体系】2104 項 農業費 【事業の経過及び背景】 「鳥取地どりピヨ」は、市場関係者から高い評価を得ていたものの生産・食鳥処理・販売を 行ってきた株式会社ふるさと鹿野での事業継続が困難となり、その後、平成30年12月に設立さ れた株式会社鹿野地鶏が事業を引き継ぎ、新体制のもとで出荷・販売を行っている。 **目** 畜産業費 (単位:千円) 【事業の目的及び効果】 2, 302 前年度当初予算額 新たな体制で地どり事業を再開するにあたって必要となる食鳥処理に係る人材育成などを支援し、鳥取地どりブランドのより一層のブランド化を図る。 本年度要求額 5, 568 【事業の内容】 ・生産に必要な施設の整備の一部を支援 ・食鳥処理に係る研修、講習会の受講、外部講師招聘経費の一部を支援 総務部長段階査定額 5, 568 その他財源の内訳 【事業の実績】 令和4年度 2.023千円 令和5年度 3.434千円 令和6年度 2.302千円 (見込) 分担金 0 市長段階査定額 5, 568 負担金 0 使用料 0 区分 本年度予算額 手数料 0 国·県支出金 0 0 財産収入 財地方債 0 0 寄付金 その他 0 繰入金 0 一般財源 5, 568 諸収入 0 計 5, 568 その他 0 備考欄

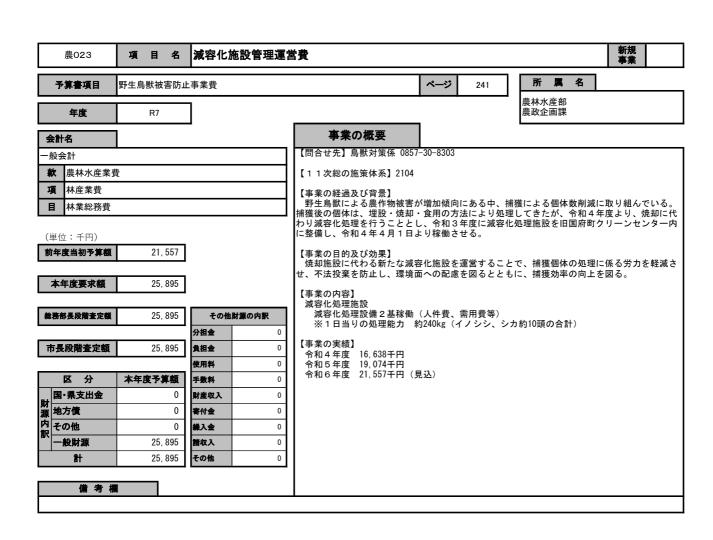
農018 項目名 鳥取市畜産暑熱対領	策事業費
予算書項目	ページ 237 所 属 名
年度 R7	農林水産部農政企画課
会計名	事業の概要
一般会計	【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304
款 農林水産業費	【11次総の施策体系】2104
項 農業費	「事業の経過及び背景]
目 畜産業費	近年の温暖化により畜舎内が高温となることで、家畜が暑さを感じ、熱中症になるリスクが 高くなり、畜産の生育状況に影響が生じている。特に牛、豚、鶏などの家畜は暑さに弱く、畜
	ではり、 「世界」では、 「世界」では、 「中央」では、 「中央」では、
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】
前年度当初予算額 0	牛舎や豚舎の暑熱対策を実施することにより、暑熱ストレスによる生産性低下を防ぐことに より、畜産経営の維持・継続を図る。
本年度要求額 1,095	【事業の内容】
, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	4十舎の暑熱対策に資する整備(二重屋根、遮熱塗料塗布)を助成する。 (1) 酪農暑熱対策事業(補助率:1/6)
総務部長段階査定額 1,095 その他財源の内訳	※【青谷町・1件】事業費1,570千円×1/6(補助率) =262千円
分担金 0	【(2)養豚暑熱対策事業(補助率:1/6) ※【鳥取・1件】事業費5,000千円×1/6(補助率)≒833千円
市長段階査定額 1,095 負担金 0	 ※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金
使用料 0	ス(いに対 m い m ス・ロ に で いっし に で コル 全 並 m ス・レ
区 分 本年度予算額 手数料 0	
財産収入 0 財産収入 0	
源 地万債	
内 訳 その他 1,095 繰入金 1,095	
□ □ 計収入 □	
計 1,095 その他 0	
備 考 欄	

目 名 畜産経営緊急支援事業費(重点支援地方交付金) 農019 項 名 畜産振興対策事業費 ページ 属 予算書項目 237 農林水産部 農政企画課 年度 事業の概要 会計名 【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304 - 般会計 款 農林水産業費 【11次総の施策体系】2104 項 農業費 【事業の経過及び背景】 世界での飼料作物需要増加、原油高、円安等の影響により、飼料価格、資材・燃料代が高騰 目 畜産業費 した状況が続いており、経営コストに対する飼料費の割合が高い畜産事業者の経営を圧迫して いる ー方で、物価高騰に伴う消費者の低価格志向で枝肉価格が低迷しており、和牛肥育農家が素 (単位:千円) 牛(和子牛)の導入を控えるなどの影響から、和子牛の価格が大幅に下落し、その結果、和子 0 前年度当初予算額 牛農家の経営環境の悪化や生産意欲低下から、肉用牛生産基盤の弱体化が懸念される状況が続 いている。 本年度要求額 23, 704 【事業の目的及び効果】 これまでに例をみない飼料価格高騰の中において、飼料費等の一部を緊急的に支援し、畜産情勢が大きく変化するなか、将来にわたって安定した本市の食を担う畜産事業者の経営の維持 総務部長段階査定額 23, 704 その他財源の内訳 安定を図る。 分担金 【事業の内容】 ①-1【肉用牛】牛マルキン制度の補填拡充支援 3,152千円 《市1/4》 市長段階査定額 23, 704 負担金 0 ①-2【肉用豚】豚マルキン制度の補填拡充支援 ② 【乳牛】 高騰配合飼料代支援 245千円 《市1/4》 0 17.885千円 《市1/4》 使用料 ③-1【肉用鶏】高騰配合飼料代支援 91千円 《市1/6》 本年度予算額 0 区分 手数料 ③-2【採卵鶏】高騰配合飼料代支援 ④ 【繁殖牛】和子牛飼料緊急支援 1 331千円 《市1/6》 0 【繁殖牛】和子牛飼料緊急支援 1,000千円 国-県支出会 23 704 《定額》 財産収入 ٥ 地方債 Λ 寄付金 その他 0 0 繰入金 0 一般財源 0 諸収入 23, 704 その他 0 計 備考欄

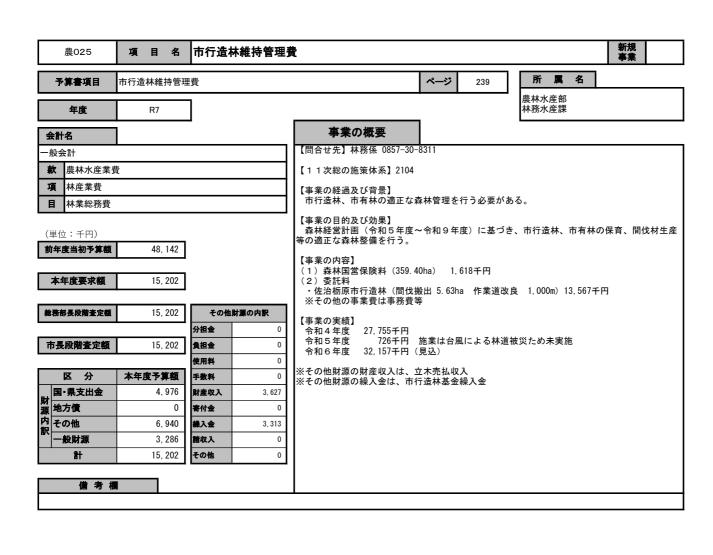




農022 項目名 クマ対策事業費		新規事業
予算書項目 野生鳥獣被害防止事業費	ページ	241 所 属 名
年度 R7		農林水産部 農政企画課
年度 会計名 一般会計 款 農林水産業費 項 林産業費 目 林業総務費 (単位:千円) 前年度当初予算額 493 本年度要求額 2,331 総務部長段階査定額 2,231 市長段階査定額 2,231 使用料 0 使用料 0	がある。 【事業の目的及び効果】 人里へのクマ出没による被害や果樹園確保するための対策を講ずる。	に出没しており、住民の安全確保の対策を講じる必要等での農作物被害を防ぐため、農家と農作物の安全を 険を伴う作業であることから、クマよけスプレーや盾。 375千円 負担割合(国1/2、県1/4、市1/4)
区分 本年度予算額 財 1,207 地方債 0 での他 0 一般財源 1,024 計 2,231 - 後期 - 後期 (日本) (日本) (日本) (日本)	クマ安楽殺処分委託 (委託先:野生鳥獣保護管理事務所) 【事業の実績】 令和4年度 125千円 令和5年度 125千円 令和6年度 493千円(見込)	484千円 負担割合(県1/2、市1/2)



農024	項目名	射撃場管	理運営費	新規
予算書項目	射擊場管理運営	₿		ページ 241 所属名
年度	R7			農林水産部 農政企画課
会計名	1			事業の概要
一般会計				【問合せ先】鳥獣対策係 0857-30-8303
款 農林水産業	費			【11次総の施策体系】2104
項 林産業費				【事業の経過及び背景】
目 林業総務費				鳥取クレー射撃場は、野生鳥獣対策を担う銃猟者のさらなる養成を目指し平成28年9月に再開したが、銃猟者の減少には歯止めがかからず、野生鳥獣による農作物被害も増加傾向が続いている。
(単位:千円)	54,000	I		【事業の目的及び効果】
前年度当初予算額	51, 232			射撃場の適切な管理運営を行うことで、銃猟者の着実な育成・確保を進め、捕獲強化による 農作物被害の軽減を図る。
本年度要求額	61, 246			【事業の内容】 施設概要
総務部長段階査定額	56, 415	その他則	才源の内訳	- 敷地面積: 11, 240㎡ - トラップ射場、スキート射場: 各 1 面(鉛弾飛散防止ネット設置) - 管理棟: 1 棟
		分担金	0	
市長段階査定額	56, 415	負担金	3, 606	【事業の実績】 令和4年度 10,701千円 延利用者数 1,081名
		使用料	2, 977	┃
区分	本年度予算額	手数料	450	4
財場大学	0	財産収入	0	※その他財源の使用料は、クレー射撃場使用料、自動販売機設置による行政財産使用料
財地方債	7 150	寄付金	0	※その他財源の手数料は、教習射撃受講料 ※その他財源の諸収入は、自動販売機設置による電気代、技能講習受託収入
内 訳 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7, 158	繰入金	0	1
一般財源	49, 257 56, 415	諸収入 その他	125	-
AT	50, 415	ての他	0]
備者相				
Vin 45 ft	*			



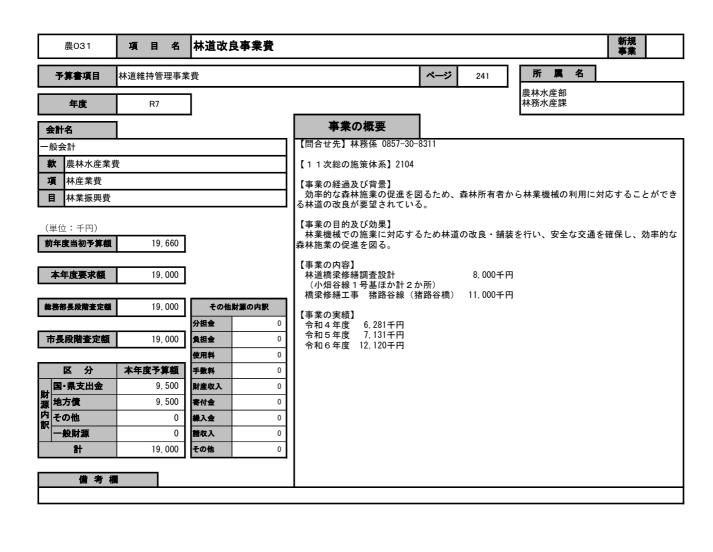
農026	項目	名	林業労働	者確保育	成対策事業負担金					
予算書項 目 木	木業労働者	確保育成	対策事業	ŧ	ページ 241 所 属 名					
年度	R7				農林水産部 林務水産課					
会計名					事業の概要					
————————————————————————————————————					【問合せ先】林務係 0857-30-8311					
款 農林水産業費					 【11次総の施策体系】2104 ●実施計画					
項 林産業費					【事業の終過及75哲學】					
目 林業総務費					【事業の経過及び背景】 林業労働者の福祉向上と労働条件の改善を図り、林業の発展に資することを目的として林業					
_										
(単位:千円)					【事業の目的及び効果】					
前年度当初予算額	1,	, 580			森林整備の担い手である林業労働者を育成確保するため、公益財団法人鳥取県林業担い手育					
-					成財団が実施する林業労働者福祉向上推進事業(林業労働者の共済年金掛金等の一部助成)に 要する経費を助成する。					
本年度要求額	1,	, 681			[事業の内容]					
					事業主体:公益財団法人鳥取県林業担い手育成財団					
総務部長段階査定額	1,	, 681	その他財	源の内訳	事業費:1,681千円					
		9	担金	0	【事業の実績】					
市長段階査定額	1,	, 681 ģ	担金	0	◆ 令和 4 年度 1,401千円◆ 令和 5 年度 1,707千円					
		—— III	用料	0	令和6年度 1,580千円 (見込)					
	本年度予		数料	0	※その他財源の繰入金は、森林環境譲与税基金繰入金					
国・県支出金			r を収入	0						
濵 地万價			行金	0						
内その他	1,	,	入金	1, 681						
一般財源			収入	0						
計	1,	, 681 ਵ	の他	0						

新規 事業 目 名 林業労働者雇用条件改善事業費 農027 項 所 属 名 予算書項目 林業労働者雇用条件改善事業費 ページ 241 農林水産部 年度 林務水産課 事業の概要 会計名 【問合せ先】林務係 0857-30-831 _ -般会計 款 農林水産業費 【11次総の施策体系】2104 ●実施計画 項 林産業費 【事業の経過及び背景】 林業労働者の高齢化により、担い手不足が進んでいる。 目 林業総務費 【事業の目的及び効果】 林業事業体が雇用する林業労働者の雇用条件の改善に努め、担い手育成を促進するため、雇 用開始から5年目までの市内在住の林業労働者に係る健康保険、厚生年金(農林年金)の事業 (単位:千円) 6, 454 前年度当初予算額 主負担に対し経費の一部を助成する。 【事業の内容】 (事業の内容) 概要 健康保険・農林年金に係る負担補助 事業主体:鳥取県東部森林組合、八頭中央森林組合、智頭町森林組合、株式会社樹林業ほか 補助対象:50人 事業費:28,162,880千円 負担割合:県 1/4、市 1/4、事業主体 1/2 本年度要求額 14, 082 総務部長段階査定額 14, 082 その他財源の内訳 分担金 【事業の実績】 市長段階査定額 14, 082 負担金 0 令和 4 年度 6,378千円 令和 5 年度 4,580千円 令和 6 年度 5,644千円(見込) 31人 24人 使用料 0 区分 本年度予算額 0 手数料 国·県支出金 7.040 0 財産収入 財地方債 0 0 寄付金 その他 0 繰入金 0 一般財源 7, 042 諸収入 0 計 14, 082 その他 0 備考欄

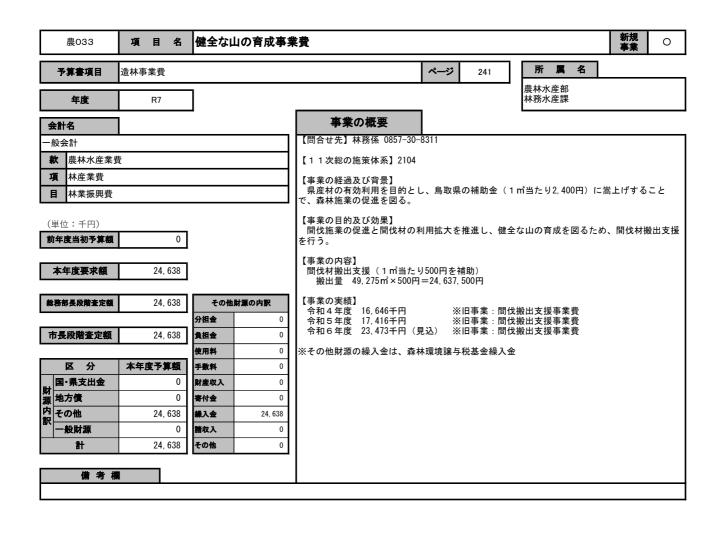
農028	項目名	林業新規就業者支持	爱対策事業費				新規 事業
予算書項目	林業労働者雇用祭	件改善事業費		ページ	241	所属名	1
年度	R7]				農林水産部 林務水産課	
会計名			事業の概要				
一般会計			【問合せ先】林務係 0857-30-	8311			
款 農林水産業費	ť		【11次総の施策体系】2104	●実施計	画		
項 林産業費			【事業の経過及び背景】				
目 林業総務費			森林資源が充実し、間伐や3る新規就業者の確保及び育成が				
(単位:千円) 前年度当初予算額 本年度要求額	1, 080		して育成するには少なくとももは負担が大きいため、研修等にされる要因の1つとなっている 【事業の目的及び効果】 意欲ある林業就業者が負担な に必要な道具や装備の購入にか	- 要する紹 - 。 - く研修を いかる費用	登費を新規就 発 で で で で で で で で で で が に で で で で で で で り で り で り で り で り で り の り の	業者に求めることも多 国が実施する「緑の履	らく、新規採用が抑制 展用」事業による研修
総務部長段階査定額	1, 080	その他財源の内駅 分担金 0	新規就業者を増加させ、本市の 【事業の内容】 国の「緑の雇用」事業による 購入にかかる費用を嵩上げ助反 補助率:2/3	フォレス	.トワーカー		二対し、道具や装備の
市長段階査定額	1, 080	負担金 0	補助 学: 2/3 補助対象: 9名 研修準備費	(道具購	入費)、資材	費(装備購入費)	
区 分 国・県支出金 地方債 その他 一般財源	本年度予算額 0 0 1,080 0	使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 機入金 1,080 酸収入 0	【事業の実績】 令和4年度 189千円 3名 令和5年度 281千円 5名 令和6年度 334千円 3名 ※その他財源の繰入金は、森林	分 分	·税基金繰入5	À.	
#H	1, 080	その他 0					

日本伐木チャンピオンシップIN鳥取開催支援事業費 目 名 農029 項 名 ページ 所 属 予算書項目 林業労働者雇用条件改善事業費 241 農林水産部 林務水産課 年度 事業の概要 会計名 【問合せ先】林務係 0857-30-8311 - 般会計 款 農林水産業費 【11次総の施策体系】2104 項 林産業費 【事業の経過及び背景】 森林資源が充実し、間伐や主伐・再造林等の事業量の増大が見込まれる中、若者を中心とす 目 林業総務費 る新規就業者の確保及び育成が喫緊の課題となっている。しかし、少子高齢化の進展により多くの分野で若手担い手が不足する状況で、新規林業従事者を目指す者を確保していくためには、林業の魅力の周知や、労働環境の改善に取り組んでいく必要がある。 (単位:千円) 前年度当初予算額 0 【事業の目的及び効果】 全国規模で行われる林業技術の大会「日本伐木チャンピオンシップin鳥取」の開催を支援 と国規模で行われる林業技術の大会「日本伐木チャンピオンシップin鳥取」の開催を支援 し、広く市民に林業の魅力を発信していくとともに、大会を通し正しい機械操作技術の伝達を 進め労働安全性の向上を図ることで、意欲ある新規林業就業者の確保を進め、もって本市の林 本年度要求額 720 業振興を図るもの。 総務部長段階査定額 720 その他財源の内訳 【事業の内容】 「日本伐木チャンピオンシップin鳥取」の開催に係る費用に対し助成を行うことで、円滑な 分担金 0 大会運営を支援するもの。 〇開催事業費(予定) 20,000千円 市長段階査定額 720 負担金 0 〇鳥取市補助額 720千円 0 使用料 ※その他財源の繰入金は、森林環境譲与税基金繰入金 区分 本年度予算額 0 手数料 国·県支出金 0 0 財産収入 地方債 Λ 寄付金 ٥ その他 720 720 繰入金 一般財源 諸収入 720 その他 0 計 備考欄

新規事業 農030 目 名 森林経営管理事業費 属 名 予算書項目 森林経営管理事業費 ページ 所 農林水産部 林務水産課 年度 R7 事業の概要 会計名 【問合せ先】林務係 0857-30-831 款 農林水産業費 【11次総の施策体系】2104 ●実施計画 項 林産業費 戦後造成された人工林が主伐期を迎えようとしている一方、所有者の高齢化、零細化により 経営・管理が行きとどいていない森林が増加している。このため、新たな経営管理システムを 林業総務費 目 構築すべく、「森林経営管理法」が平成30年5月に制定された。 (単位:千四) 【事業の目的及び効果】 森林所有者が自ら経営・管理を実行できない場合、市町村が経営管理を受託し、意欲と能力のある林業経営者への再委託もしくは市町村が自ら管理することにより、林業の成長産業化と 前年度当初予算額 73, 512 森林資源の適切な管理を図る。なお、本事業は森林環境譲与税を財源としている。 73, 850 本年度要求額 【事業の内容】 森林経営管理を推進するために必要な意向調査や森林境界の確認、経営管理権集積計画 73.850 (案)の作成を実施。 総務部長段階査定額 その他財源の内訳 ①森林境界候補図作成 1地区(用瀬町) 分担金 ②森林境界明確化 1地区(鹿野町) 1地区(国府町) ③意向調査 市長段階査定額 73, 850 負担金 ④集積計画 1地区(佐治町) 0 使用料 ⑤市町村管理 1地区(佐治町) 区分 本年度予算額 0 手数料 【事業の実績】 46,279千円 国·県支出金 0 財産収入 0 令和4年度 令和5年度 22,679千円 0 0 地方債 寄付金 令和6年度 73,187千円(見込) 内訳 その他 73,850 73, 850 繰入金 ※その他財源の繰入金は、森林環境譲与税基金繰入金 一般財源 0 諸収入 0 0 その他 計 73,850

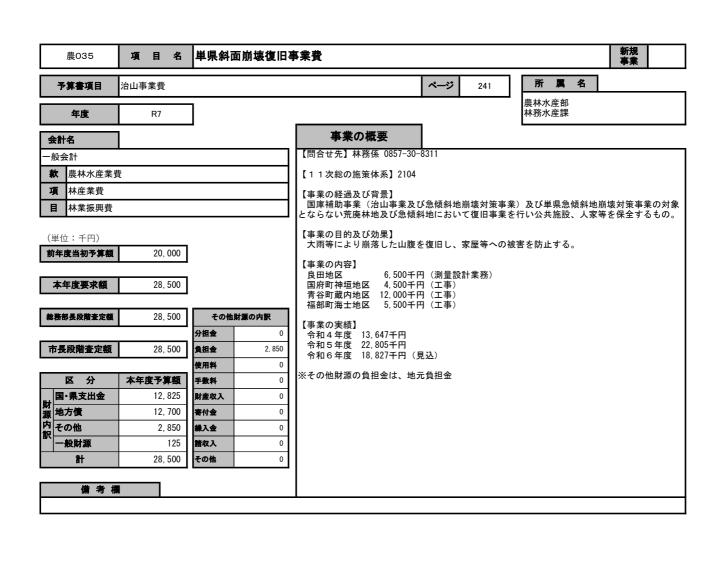


農032	項 目 名	造林事第	費				新規事業
予算書項目 造	林事業費				ページ	241	所属名
年度	R7				_		農林水産部 林務水産課
会計名		_		事業の概要			
一般会計				【問合せ先】林務係 0857-30-	8311		
款農林水産業費				【11次総の施策体系】2104【事業の経過及び背景】			
項 林産業費				木材価格の低迷、林家の高	伶化などに	より、適切な	森林施業が遅れており、林地の荒廃が進
目 林業振興費				【んでいる。 【事業の目的及び効果】			
中				適正な森林造成計画を計画	りかつ効果	!的に推進する	ために必要な補助金を交付し、もって本
(単位:千円)				┃市林業の振興を図る。 ┃【事業の内容】			
前年度当初予算額	45, 458			〇事業費 問件 ######## 4	- 45° V#- 44-44	* # 40 000 *	
削牛及ヨ物ア昇級	40, 400			間伐・竹林林種転換・クラッド 皆伐再造林・少花粉スギャ		9助 43,899十 20,483千	
本年度要求額	83, 319			シカ進入防護柵設置(5.7 シカ防護柵の点検 (71.6		2, 325千	
本 年及安米報	os, s19			■ 2カ防護備の点検 (71.6 ■ ○補助率	OTKIII)	4, 300 —	·n
	22.242	a - N -		間伐: (普通林) 10%、 竹林樹種転換: 5% ※t			負担 15%
総務部長段階査定額	83, 319	4 11 121	対源の内訳	センダン・カラマツ・コワ	ウヨウザン	′、クヌギ造林	:10% ※地元負担 5%
. =		分担金	0	シカ進入防護柵設置:109 花粉発生源対策促進事業		防護柵の点検	き・維持管理経費:定額15,000円/km
市長段階査定額	83, 319	負担金	0	【事業の実績】			
		使用料	0	令和 4 年度 18,511千円 9,120千円		伐・竹林林種 力進入防護柵	
	年度予算額	手数料	0	令和 5 年度 15,050千円	間	伐・竹林林種	転換 221. 23ha
国•県支出金	2, 866	財産収入	0	8,710千円 6,071千円		f伐再造林等 vカ侵入防護柵	66.94ha 計設置 15.247km
源地方價	22, 400	寄付金	0	2,686千円	シ	√カ柵点検	62. 03km
内その他	58, 053	繰入金	58, 053	令和6年度 12,848千円(10,127千円(]伐・拡大造林 f伐再造林等	275. 83ha 117ha
一般財源	0	諸収入	0	3,503千円(」	見込) シ	カ侵入防護柵	·設置 8.714km
BH BH	83, 319	その他	0	4,085千円(」	見込)	力防護柵点検	延長 74.828km
				※その他財源の繰入金は、森林	木環境譲与	税基金繰入金	Ē
備考欄							



農034	項目名	豊かな森づくり推	進事業費
予算書項目	造林事業費		ページ 241 所 属 名
年度	R7		農林水産部 林務水産課
会計名			事業の概要
-般会計	-		【問合せ先】林務係 0857-30-8311
款 農林水産業	費		【11次総の施策体系】2104
項 林産業費			【事業の経過及び背景】
目 林業振興費			拡大する竹対策として、鳥取県豊かな森づくり協働税を財源に竹林の抜き伐り等を実施し 竹林整備に取り組む。
(単位:千円)		•	【事業の目的及び効果】 適正な管理ができていない竹林の抜き伐り等に対し補助を行う。
前年度当初予算額	46, 915		「事業の内容」
本年度要求額	49, 673		負担区分 鳥取県竹林整備事業費補助金(豊かな森づくり協働税を活用) 補助率 県 80% 市 10%
総務部長段階査定額	49, 673	その他財源の内訳	抜き伐り、搬出 10.05ha 55,192千円 (内訳:県44,154千円 市5,519千円)
市長段階査定額	49, 673	分担金 負担金 使用料	0 【事業の実績】
区分	本年度予算額	手数料	
国·県支出金	44, 154	財産収入	0
地方債	0	寄付金	0
その他	5, 519	繰入金 5, 5	19
一般財源	0	諸収入	
211	49, 673	その他	0

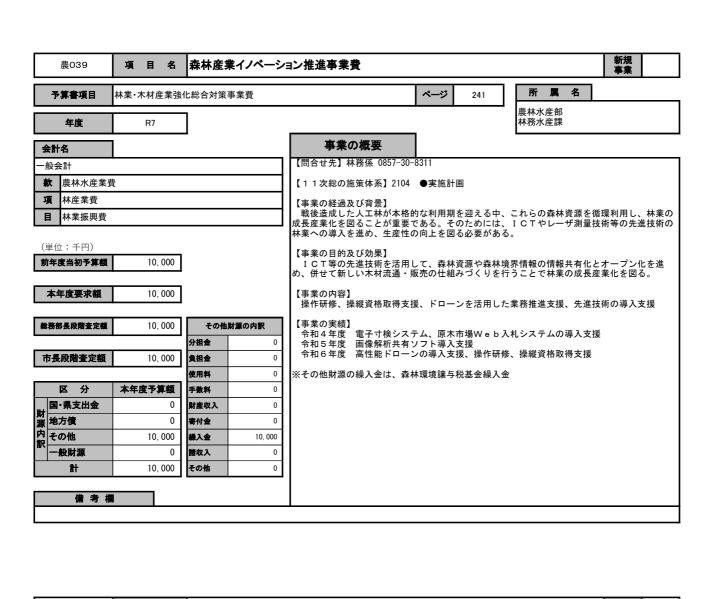
- Table |



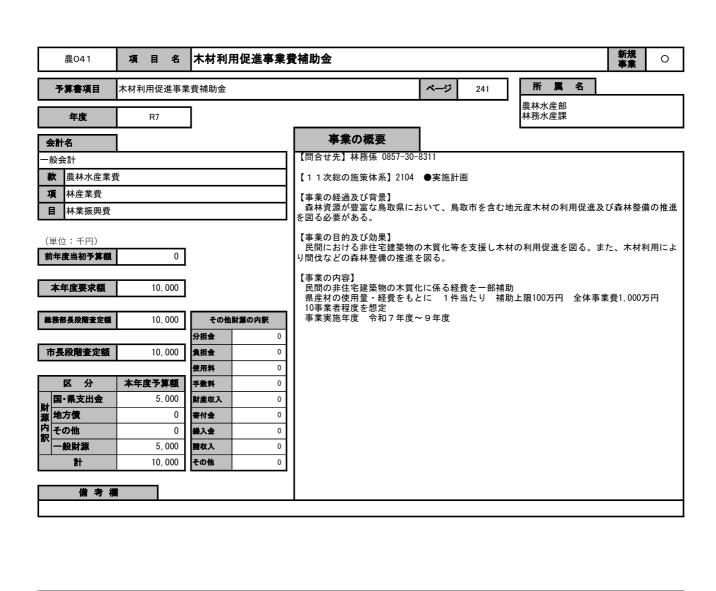
農036 項 目 名	森づくり作業道整備事業	費				新規 事業	
予算書項目 森づくり作業道整備	事業費		ページ	241	所属	-	
年度 R7]				農林水産部 林務水産課		
会計名	1 7	事業の概要	2011				
一般会計		問合せ先】林務係 0857-30-8	3311				
款 農林水産業費	1	1 1次総の施策体系】2104	●実施計画	画			
項 林産業費		事業の経過及び背景】					l
目 林業振興費		国・県の作業道補助事業とあ	わせて、1	作業道等整備	事業に補助を	行う。	l
(単位:千円) 前年度当初予算額 16,659 本年度要求額 24,036 総務部長段階奎定額 24,036	その他財源の内駅	作業道整備(保安林) 12 合計 59 2) 林業専用道整備の補助金	5 7, 584m 2, 300m 9, 884m	感等を図るたく	め、作業道等	の整備を促進する。	
市長段階査定額 24,036	負担金 0	事業の実績】 令和4年度 11,415千円 令和5年度 12,022千円 令和6年度 17,030千円(見	68路約	線 47,082m 線 32,334m、		1 路線 1,093m 3 路線 890m	
区 分 本年度予算額	手数料 0 ※3	その他財源の繰入金は、森林	環境譲与和	说基金繰入金			
国-県支出金 0	財産収入 0	AND IN	50 5 1				l
財 地方債 0	寄付金 0						l
内 その他 24,036	繰入金 24,036						l
一般財源 0	諸収入 0						l
# 24, 036	その他 0						
備考欄							

目 名 きのこ王国とっとり振興施設等整備事業費補助金 0 農037 項 所 属 名 予算書項目 林産物振興対策事業費 ページ 241 農林水産部 年度 林務水産課 R7 事業の概要 会計名 【問合せ先】林務係 0857-30-8311 -般会計 款 農林水産業費 【11次総の施策体系】2104 項 林産業費 【事業の経過及び背景】 原木しいたけ等の振興施設等の整備を支援し、減少傾向にあるきのこ類の生産量の増加を図 り、生産、出荷、販売を促進する必要がある。 目 林業振興費 【事業の目的及び効果】 (単位:千円) 原木しいたけ等の振興施設等の整備を支援することにより、きのこ王国とっとりの実現を推 前年度当初予算額 0 進するもの。 【事業の内容】 等条の内容】 特用林産振興施設等整備事業(間接補助事業) 特用林産物生産施設の建設等に要する経費を助成 上限事業費 :15万菌床×920万円/万菌床=1億3,800万円 国庫補助上限:1億3,800万円×補助率1/2=6,900万円 本年度要求額 69,000 総務部長段階査定額 69,000 その他財源の内訳 分担金 市長段階査定額 69,000 負担金 0 使用料 0 区分 本年度予算額 手数料 0 国·県支出金 69,000 0 財産収入 財地方債 0 0 寄付金 その他 0 繰入金 0 一般財源 0 諸収入 0 69,000 0 計 その他 備考欄

農038	項目名	林業・木	材産業強化	公総合対策事業費			新規事業
予算書項目	林業・木材産業強(比総合対策	事業費		ページ	241	所属名
年度	R7]			_		農林水産部 林務水産課
会計名				事業の概要			
一般会計				【問合せ先】林務係 0857-30	-8311		
款 農林水産業費	ł			【11次総の施策体系】2104	●実施計	画	
項 林産業費				┃ 【事業の経過及び背景】			
目 林業振興費							これらの森林資源を循環利用し、林業の なと能力のある林業経営体を育成し、木材
(単位:千円)			_				たこれがあるが来た古体と自成し、小句 住能林業機械の導入支援等を行う必要があ
前年度当初予算額	25, 950			【事業の目的及び効果】 意欲と能力のある林業経営 機械の導入に対し支援を行う		原木を低コス	ストで安定的に供給するための高性能林業
本年度要求額	17, 100			【事業の内容】 ・高性能林業機械の整備	•		
総務部長段階査定額	17, 100	その他	財源の内訳	ハーベスター 1台 34	, 200千円×	1/2 = 17, 10	0千円(補助率1/2)
		分担金	0	【事業の実績】			
市長段階査定額	17, 100	負担金	0	令和 4 年度 33,087千円 令和 5 年度 450千円			
		使用料	0	令和6年度 38,966千円			
区分	本年度予算額	手数料	0		対策事業費	?(令和6年月	建国 1 次補正)
国・県支出金	17, 100	財産収入	0				
源 地方債	0	寄付金	0				
内での他	0	繰入金	0				
一般財源	0	諸収入	0				
#H	17, 100	その他	0				



	農040	項目名	危険木等事前	「伐採	推進事業費		
	予算書項目	危険木等事前伐掠	采推進事業費		ページ 241 所 属 名		
	年度	R7			農林水産部 林務水産課		
£	è 計名				事業の概要		
—f	般会計				【問合せ先】林務係 0857-30-8311		
兼	農林水産業費	費			【11次総の施策体系】2104		
ij	東 林産業費				 【事業の経過及び背景】		
E	林業振興費				↑ 令和5年1月の大雪による倒木により孤立集落が発生した。		
					■ 倒木に起因する孤立集落の発生を未然に防止するため、手入れの行き届いていない森林の適 正な管理の促進を図る必要がある。		
<u>í</u>)	単位:千円)						
前	「年度当初予算額	5, 500			【事業の目的及び効果】 鳥取県、市町村、通信事業者等により構成される「倒木被害防災・減災対策連絡会」におい		
					て危険木の予防的事前伐採等が必要と判断された箇所の予備伐採の実施に対する支援を行い、 倒木に起因する集落の孤立・停電・通信障害等の発生による住民生活への影響の軽減及び森林		
	本年度要求額	5, 500			関本に起因する果落の孤立・停電・通信障害等の発生による住民生活への影響の軽減及の無体 所有者等による森林の適正な管理の推進を図る。		
					 【事業の内容】		
総	務部長段階査定額	5, 500	その他財源の内	訳	┃ ┃ 「倒木被害防災・減災対策連絡会」において危険木の予防的伐採等が必要とされた地域森林		
			分担金	0	計画の対象森林内にある危険木の伐採、除去、処分を行う森林所有者、森林管理者等に対し、 県の補助事業を活用し支援を行うもの。		
Ħ	5長段階杳定額	5, 500	負担金	0	補助率 10/10 (鳥取県危険木等事前伐採推進事業補助金 補助率1/2、限度額1か所あたり		
		0,000	使用料	0	1,000千円を活用)		
	区分	本年度予算額	手数料	0	【事業の実績】		
	国・県支出金	2,500	財産収入	0	┃ 令和5年度 450千円 佐治町栃原地内 1か所 ┃ 令和6年度 5,500千円(見込) 佐治町尾際地内 1か所		
	地方債	0	寄付金	0	用瀬町赤波地内 1か所 用瀬町江波地内 1か所		
内	その他	3,000	維入金	3. 000			
訳	一般財源	0,000	諸収入	0	※その他財源の繰入金は、森林環境譲与税基金繰入金		
	計	5, 500	その他	0			
	MI	3, 300	4/ID				



	農042	項目名	水産資源維持増殖	事業費
	予算書項目	水産資源維持増殖	事業費	ページ 243 所 馬 名
	年度	R7]	農林水産部 林務水産課
	会計名			事業の概要
F	·般会計			【問合せ先】水産漁港係 0857-30-8312
	款 農林水産業費	t		【11次総の施策体系】2104
	項 水産業費			┃┃
	1 水産業振興費	Ì		千代川・湖山池は市民にとって身近な水辺空間であるとともに、内水面漁業の漁場であり、 それらの機能維持を図るため、内水面漁業協同組合が行う放流に要する経費を助成してきた。
_	(単位:千円)			【事業の目的及び効果】 水産資源の維持増殖による内水面漁業の振興及び千代川・湖山池流域の地域振興やレクリ
1	前年度当初予算額	12, 170		エーション機会の増大に寄与する。
	本年度要求額	12, 398		【事業の内容】 鮎などの内水面水産資源の維持増殖等を図る放流事業に対し助成する。 実施主体:千代川漁業協同組合、湖山池漁業協同組合、市 事業費:千代川流域 淡水魚放流事業等 11.530千円
1	総務部長段階査定額	12, 398	その他財源の内訳	ふれあい放流事業 68千円 湖山池流域 湖山池漁業振興対策事業 400千円
			分担金 0	
	市長段階査定額	12, 398	負担金 0	【事業の実績】
			使用料 0	↑ 令和 4 年度 11,610千円 3.73 t シジミ産卵場整備
	区分	本年度予算額	手数料 0	】 令和 5 年度 11,630千円 3.73 t シジミ産卵場整備 3.73 t シジミ産卵場整備 4.730千円(見込) 3.73 t シジミ産卵場整備 4.730千円(見込) 3.73 t
睫	国·県支出金	0	財産収入 0	
源	地方債	0	寄付金 0	
内部	その他	5, 799	繰入金 0	
	一般財源	6, 599	諸収入 5, 799	
	計	12, 398	その他 0	

本度 R7	農043	項目名	鳥取かにフェスタ開	催事業費補助金				新規事業
本計名	予算書項目	鳥取かにフェスタ	開催事業費		ページ	243	所属名	
下長段階重定額	年度	R7	1		•			
放 機林水産業費	会計名	ĺ						
水産業費	一般会計			【問合せ先】水産漁港係 0	857-30-8312			
日 水産業振興費 水産業の発展等をアピールするため、平成12年より「鳥取かにフェスタ」が開催されている。 本年度要求額 600 本年度要求額 600 大の他財源の内駅	款 農林水産業	費		【11次総の施策体系】21	04 ●実施計	一画		
日 水産業振興費 水産業振興費 水産業振興費 市民はもとより県内外の方々に、賀露西浜地区の水産業を柱とする地域開発及び水産業の発展等をアピールするため、平成12年より「鳥取かにフェスタ」が開催されている。 本年度要求額 600 本年度要求額 600 本年度要求額 600 大の他財産の内駅	項 水産業費			 【事業の経過及び背景】				
単位:千円	目 水産業振興	費		市民はもとより県内外の				
	前年度当初予算額 本年度要求額 総務部長段階査定額 市長段階査定額 区 分 国・県支出金 地方債 その他 一般財源	600 600 本年度予算額 0 0 0	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 踏収入 0	【事業の目的及び効果】 松葉がにの産地としての 【事業の内容】 主催団体:鳥取かにフェ 実施場所:鳥取港西浜地 【事業の実績】 令和4年度 新型コロナ 令和5年度 600千円	鳥取市を情報 スタ実行委員 区 マリンヒ ウイルス感望	最発信し、併 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	せて地元水産業の振興	

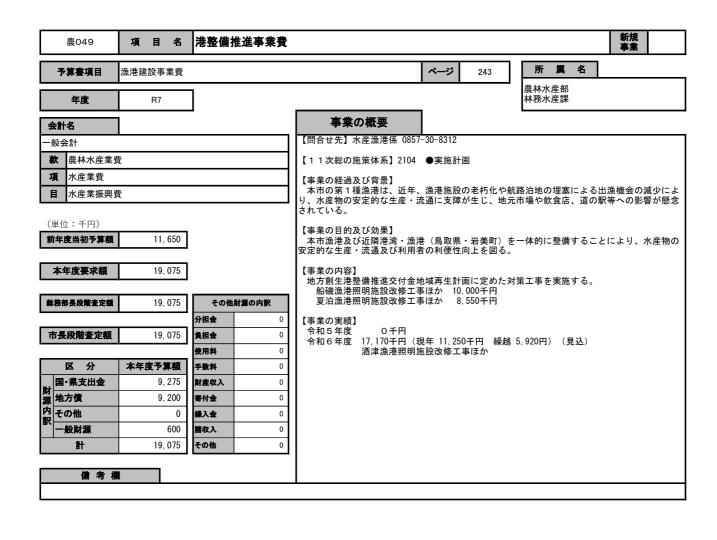
農044	項目名	省エネ漁業推進事業	業費(重点支援地方交付金))			新規事業
予算書項目	省エネ漁業推進事	業費		ページ	243	所属名	
年度	R7]				農林水産部 林務水産課	
会計名	ĺ	•	事業の概要				
一般会計	-		【問合せ先】水産漁港係 0857	-30-8312			
款 農林水産業	費		【11次総の施策体系】2104				
項 水産業費			┃ ┃【事業の経過及び背景】				
目 水産業振興	費		魚価低迷、燃油・資材高騰等 経営を目指し、県の制度と連携				
(単位:千円)			【事業の目的及び効果】 漁業経営改善計画を作成する	5.海業者を	·増加させ i	新得を向 トさせること	により 海業後継者
前年度当初予算額	0		の確保が期待できる。	им. Т с		714 E147 C C 0 C C	100 人 加木区市口
本年度要求額	191		【事業の内容】 経営改善に積極的かつ計画的 入経費や温暖化等による海の3 事業費:1,144千円				
総務部長段階査定額	191	その他財源の内訳	補助対象経費上限額:1,144	千円×1/6	5=191千円	2名(魚群探知機、魚	沿外機)
		分担金 0	【事業の実績】 令和4年度 132千円(コロ	上古吧。	ᄯᅄᄱ	は六什会)	
市長段階査定額	191	負担金 0	令和5年度 833千円		列时10用的	i时义的亚/	
	1	使用料 0	令和6年度 703千円(見込)			
区分	本年度予算額	手数料 0					
国・県支出金	191	財産収入 0					
財源 地方債 その他	0	寄付金 0					
訳	0	繰入金 0					
一般財源	0	諸収入 0					
計	191	その他 0					
備考相							

漁業経営開始円滑化事業費 農045 項 目 名 所 属 名 漁業経営開始円滑化事業費 ページ 予算書項目 243 農林水産部 年度 林務水産課 事業の概要 会計名 【問合せ先】水産漁港係 0857-30-8312 _ -般会計 款 農林水産業費 【11次総の施策体系】2104 ●実施計画 項 水産業費 【事業の経過及び背景】 漁業後継者の不足の一因として、漁業の専業経営を目指す新規就業者が新たに着業する際、 漁船等の初期投資に多大な費用を要することがあげられる。 **目** 水産業振興費 【事業の目的及び効果】 (単位:千円) 漁業就業時に必要な漁船等の初期投資に対して助成することにより漁業の新規就労者の円滑 前年度当初予算額 0 な確保を実現する。 【事業の内容】 事業の内容】 漁協が漁船、漁具等を購入し、新規就労者にリースする。 事業実施主体:鳥取県漁業協同組合 補助率:2/3 (県1/2、市1/6) 対象者:1名(青谷)【2回目】 事業費:3,435千円 補助金:2,290千円(3,435千円×2/3) 本年度要求額 2, 290 総務部長段階査定額 2, 290 その他財源の内訳 分担金 0 市長段階査定額 2, 290 負担金 0 【事業の実績】 令和4年度 22,000千円 対象者2名 漁船2隻(機器・漁具含む) 令和5年度 31,094千円 対象者4名 漁船1隻ほか機器等 利和6年度 0千円(見込) (繰越 18,667千円 対象者1名 漁船1隻(機器・漁具含む)) (見込) 使用料 0 区分 本年度予算額 手数料 0 国·県支出金 1.717 0 財産収入 財地方債 0 0 寄付金 その他 0 繰入金 0 一般財源 573 諸収入 0 2, 290 計 その他 0 備考欄

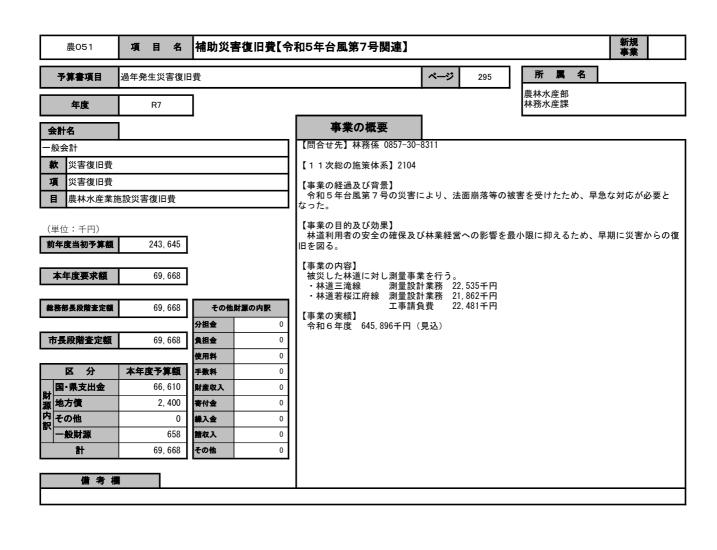
農046	項目名	漁港施設維持管理	事業費
予算書項目	漁港施設維持管理	事業費	ページ 243 所 属 名
年度	R7]	農林水産部 林務水産課
会計名			事業の概要
一般会計	•		【問合せ先】水産漁港係 0857-30-8312
款 農林水産業費	ŧ		【11次総の施策体系】2104 ●実施計画
項 水産業費			 [事業の経過及び背景]
目 水産業振興費	ŧ		平成12年度、鳥取県から第1種漁港である岩戸漁港(福部町)、酒津漁港・船磯漁港(気高町)、夏泊漁港・長和瀬漁港(青谷町)の5漁港が譲渡され、鳥取市管理の漁港は青谷漁港と併せて6漁港となった。
(単位:千円)			【事業の目的及び効果】
前年度当初予算額	47, 973		【事業の日的及び効果】 第1種漁港の管理者として、漁港及び関連施設の維持管理を行い、安全安心な漁業経営に寄 与する。
本年度要求額	78, 318		【事業の内容】 漁港施設維持管理(光熱水費、維持修繕費等)
総務部長段階査定額	64, 083	その他財源の内訳 分担金 0	- 福部地域 6,403千円 - 気高地域 38,518千円 - 青谷地域 19,162千円
市長段階査定額	64, 083	負担金 0	[事業の実績]
		使用料 3,392	令和 4 年度 50, 275千円 令和 5 年度 50, 856千円
区分	本年度予算額	手数料 0	令和6年度 69,963千円 (見込)
国・県支出金財	12, 527	財産収入 0	※その他財源の使用料は、漁港施設占用料
源地方價	0	寄付金 0	
内での他	3, 392	繰入金 0	
一般財源	48, 164	諸収入 0	
at	64, 083	その他 0	

栽培漁業推進支援事業費 項 目 名 農047 名 ページ 予算書項目 栽培漁業推進支援事業費 243 農林水産部 林務水産課 年度 事業の概要 会計名 【問合せ先】水産漁港係 0857-30-8312 - 般会計 款 農林水産業費 【11次総の施策体系】2104 ●実施計画 項 水産業費 【事業の経過及び背景】 本市は県と連携しながら栽培漁業を推進し、水産物の安定供給・地域振興に資するため、漁 目 水産業振興費 業者が行う種苗放流事業に助成してきた。 【事業の目的及び効果】 (単位:千円) 漁場再生、漁業振興及び漁村の活性化のため、稚貝放流等の経費を助成し漁獲量の増加を図 前年度当初予算額 1, 202 【事業の内容】 - 種苗放流等 放流種苗等 アワビ23,600個、サザエ46,500個、キジハタ9,237尾 本年度要求額 1, 213 事業費 1,213千円 (内市助成額536千円) 総務部長段階査定額 1, 213 その他財源の内訳 【事業の実績】 分担金 0 (1)種苗放流等 令和 4 年度 1,109千円 令和 5 年度 1,121千円 令和 6 年度 1,202千円(見込) 市長段階査定額 1, 213 負担金 0 使用料 0 (2) イワガキ岩盤清掃 区分 本年度予算額 0 手数料 令和4年度 0 千円 国·県支出金 0 令和5年度 0千円 677 財産収入 令和6年度 0千円(見込) 地方債 ٥ Λ 寄付金 その他 0 0 繰入金 0 一般財源 536 諸収入 計 1, 213 その他 0 備考欄

新規事業 農048 目 名 漁港施設機能保全事業費 属 名 予算書項目 漁港建設事業費 ページ 所 農林水産部 林務水産課 年度 R7 事業の概要 会計名 【問合せ先】水産漁港係 0857-30-8312 款 農林水産業費 【11次総の施策体系】2104 ●実施計画 項 水産業費 平成12年度、鳥取県から第1種漁港である岩戸漁港(福部町)、酒津漁港・船磯漁港(気高町)、夏泊漁港・長和瀬漁港(青谷町)の5漁港が譲渡され、鳥取市管理の漁港は青谷漁港と 水産業振興費 目 併せて6漁港となった。 (単位:千四) 【事業の目的及び効果】 本市の第1種漁港は、近年、老朽化に伴い更新等が必要な漁港施設が増加している。施設の維持管理を体系的に捉え、計画的に更新することにより、施設の長寿命化を図りつつ更新コス 前年度当初予算額 89.440 トの平進化・縮減を図る。 本年度要求額 22, 600 【事業の内容】 漁港施設機能保全計画に定めた対策工事を実施する 「西津漁港機能保全工事(水域施設) 船磯漁港機能保全工事(水域施設) 別漁港機能保全工事(水域施設) 夏泊漁港機能保全工事(水域施設) 2,100千円 総務部長段階査定額 22 600 その他財源の内訳 9.300千円 分担金 11 000千円 市長段階査定額 22,600 負担金 【事業の実績】 令和4年度 139,738千円 (現年 50,210千円 繰越 89,528千円) 酒津・船磯・夏泊漁港機能保全工事、酒津漁港機能増進工事 0 使用料 区分 本年度予算額 0 手数料 令和5年度 80,526千円 (現年 54,742千円 繰越 25,784千円) 船磯・夏泊漁港機能保全工事 国·県支出金 11.800 財産収入 0 酒津漁港機能保全計画見直し業務 10,800 0 地方債 寄付金 | 106, 128千円 (現年 | 75, 240千円 | 繰越 | 30, 888千円) (見込) | 酒津・船磯・夏泊漁港機能保全工事 令和6年度 その他 0 繰入金 0 一般財源 0 諸収入 0 0 その他 計 22,600



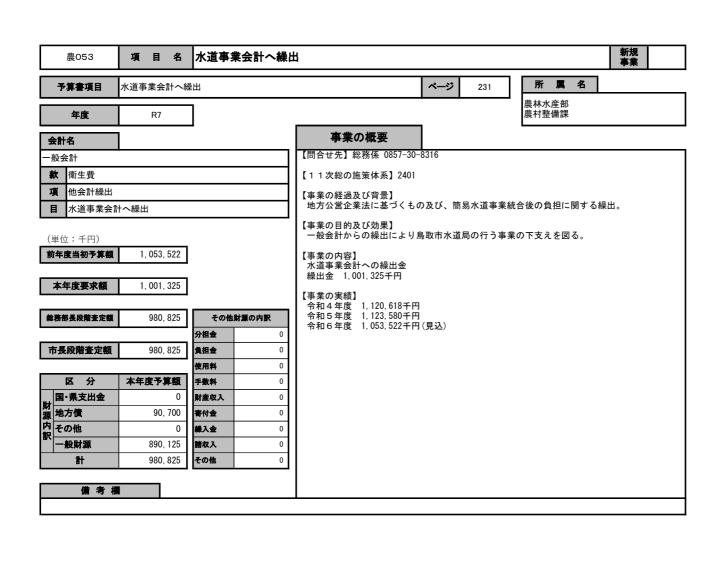
農050	項目名	漁業研修事業費	新規事業
予算書項目	漁業振興対策事業	費	ページ 243 所 属 名
年度	R7		農林水産部 林務水産課
会計名			事業の概要
一般会計	-		【問合せ先】水産漁港係 0857-30-8312
款 農林水産業費	ŧ.		【11次総の施策体系】2104 ●実施計画
項 水産業費			【事業の経過及び背景】
目 水産業振興費	ŧ		現在、漁業就労者は減少傾向にあり、また高齢化も進行していることから将来の漁業者の不足が懸念されている。また、新規に漁業への就業を希望する者はほとんど漁業経験がなく新た
(単位:千円)			たが恋さられている。また、利別に漁業への税業を布重する有ははこれと漁業経験がなく利に に漁業に従事するためには漁業技術の研修が必要である。
前年度当初予算額	7, 379		【事業の目的及び効果】
10千块二份了并版	7,070		漁業経営体・漁協等が漁業就業希望者に対し、漁業技術等の研修を実施することにより、新 規就業者の円滑な確保及び雇用機会の創出を図る。
本年度要求額	10, 482		【事業の内容】 新規漁業就業希望者へ漁業技術や経営方法等習得のために行う研修に必要な費用を助成す
			వ .
総務部長段階査定額	8, 053	その他財源の内訳	事業実施主体 : 漁業経営体、漁協等 事業対象漁業種: 沿岸漁業、沖合底びき網漁業
		分担金 0	研修生 : 4名(雇用型3名、独立型1名/新規3名、継続1名) 事業費 : 10,482千円(県9,151千円、市1,331千円)
市長段階査定額	-,	負担金 0	争来复 : 10,462十円 (県 9,131十円、甲 1,331十円)
		使用料 0	【事業の実績】 令和4年度 14.974千円 9名
区分		手数料 0	令和 5 年度 9,972千円 7 名
財団・県支出金		財産収入 0	令和 6 年度 5,081千円(見込) 2 名
源 地方債		寄付金 0	
訳		繰入金 0	
一般財源		諸収入 0	
計	8, 053	その他 0	
備考欄			
• 10			L

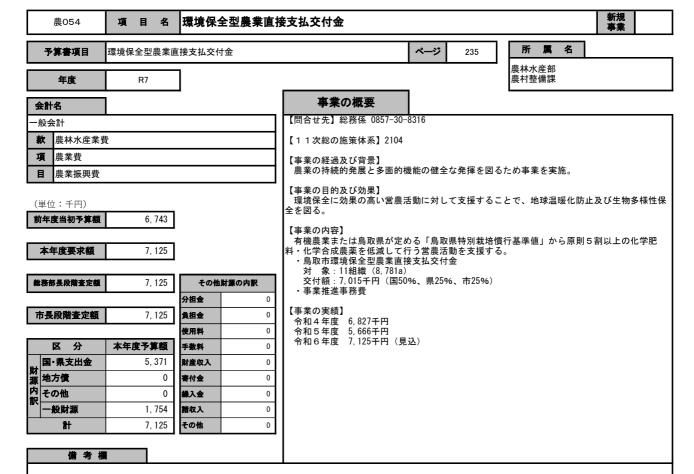


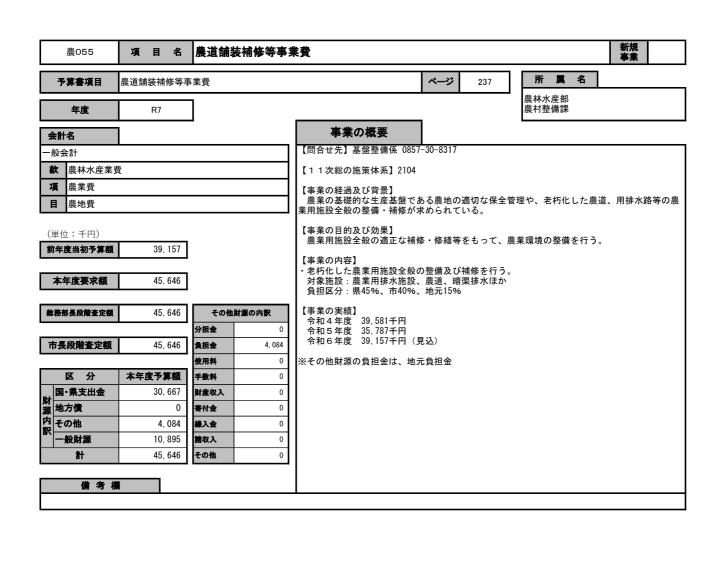
		1	*************************************
予算書項目	過年発生災害復	日費	ページ 295 所 属 名
年度	R7		農林水産部 林務水産課
会計名 一般会計]		事業の概要 【問合せ先】林務係 0857-30-8311
(単位:千円)	施設災害復旧費		【11次総の施策体系】2104 【事業の経過及び背景】 令和5年台風第7号の災害により、法面崩落等の被害を受けたため、早急な対応が必要となった。 【事業の目的及び効果】 林道利用者の安全の確保及び林業経営への影響を最小限に抑えるため、早期に災害からの復
前年度当初予算額 本年度要求額 総務部長段階畫定額 市長段階畫定額	99, 357 99, 357	その他財源の内駅 分担金 0 負担金 0	旧を図る。 【事業の内容】 被災した林道に対する災害復旧事業を行う。 土砂撤去等災害復旧業務(補助対象外) ・林道河合谷線 37,900千円 ・林道福地荒舟線 41,327千円 ・林道権田ヶ谷線 5,798千円 ・林道三滝線 1,995千円 ・林道王茂線 1,637千円
区 分 国・県支出金 地方債 その他 一般財源	本年度予算額 0 99,000 0 357 99,357	使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 線入金 0 簡収入 0	・林道焼山奥線 1,800千円 ・林道兵円山線 7,500千円 【事業の実績】 令和6年度 18,230千円(見込)
備考相			

項 目 名 単独災害復旧費【令和5年台風第7号関連】

農052







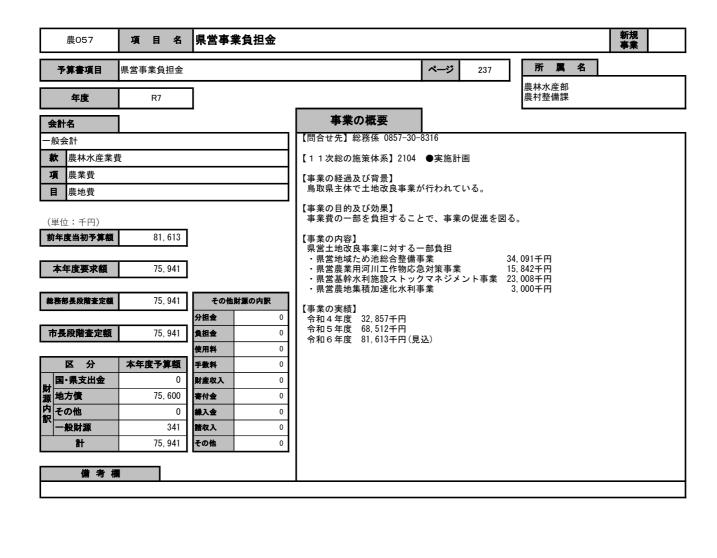
予算書項目	小規模土地改良事	業費		ページ	237	所属名
年度	R7]				農林水産部 農村整備課
会計名			事業の概要			
一般会計			【問合せ先】総務係 0857-30-8	3316		
款 農林水産業費	ŧ		【11次総の施策体系】2104			
項 農業費			【事業の経過及び背景】			
目 農地費			補修用原材料の支給により、 ている。	地元の労	力の提供によ	る農道・水路等の簡易な補修が要望され
(単位:千円)			【事業の目的及び効果】 地元が実施する農業用施設の	が はんに際	I. 市から原	材料を支給することにより、土地改良施
前年度当初予算額	6, 000		設の維持管理活動を促進する。	, mis (CM)		で行うと人間としているが、工化収及形
本年度要求額	6, 000		【事業の内容】 ・鳥取市小規模土地改良事業 実施主体:鳥取市 事業費:原材料費 6,000)	
総務部長段階査定額	6, 000	その他財源の内訳	財源 : 県50%市50%			
市長段階査定額	6, 000	分担金 0 負担金 0	【事業の実績】 令和4年度 5,914千円			
巾女权陷重 企融	6,000	使用料 0	令和5年度 5,925千円 令和6年度 6,000千円(見)	; λ)		
区分	本年度予算額	手数料 0	1741 0 T/2 0, 000 111 (36)	2 /		
国・県支出金	3, 000	財産収入 0				
財地方債	0	寄付金 0				
内での他	0	繰入金 0				
一般財源	3, 000	諸収入 0				
計	6, 000	その他 0				
備考標						

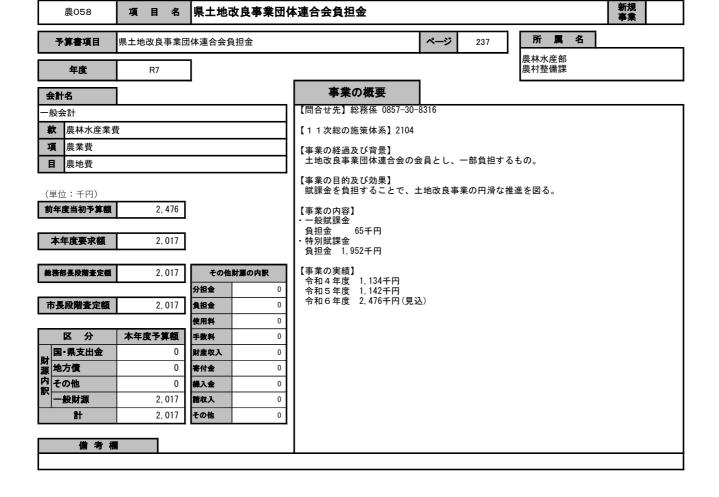
農056

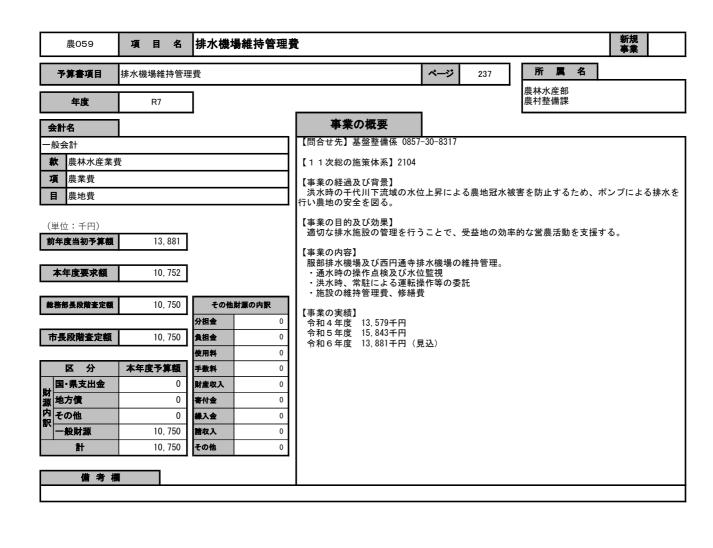
項目名

小規模土地改良事業費

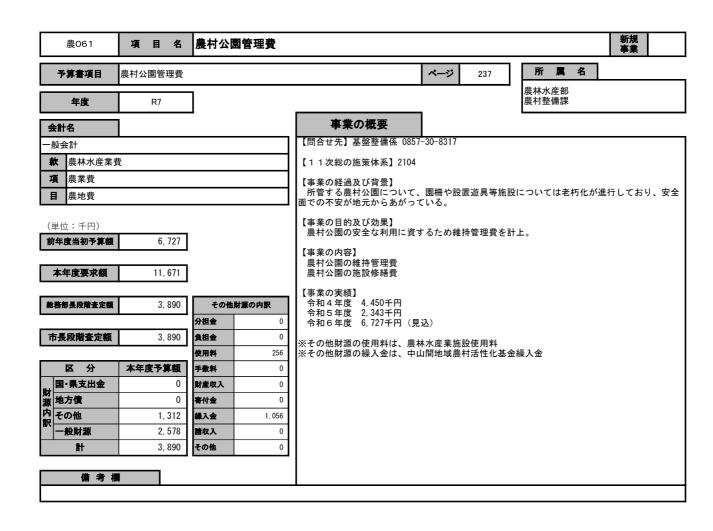
新規 事業



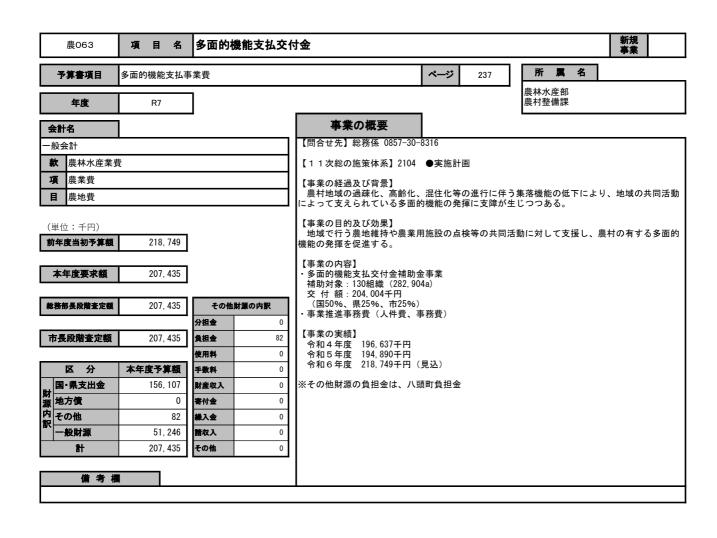




農060 項 目	名	農山漁村地域整備3	交付金事業費 新規 事業					
予算書項目 農山漁村	地域整備	交付金事業費	ページ 237 所 属 名					
年度 R	7		農林水産部 農村整備課					
会計名 一般会計 款 農林水産業費 項 農業費			事業の概要 【問合せ先】基盤整備係 0857-30-8317 【1 1 次総の施策体系】2104					
目 農地費			【事業の経過及び背景】 鳥取市の農作物輸送の上で重要な基幹農道に架かる橋梁であるが、供用開始から50年以上経 過する橋梁もあり老朽化が懸念される。					
(単位:千円) 前年度当初予算額	0		【事業の目的及び効果】 基幹農道に架かる橋梁の点検・機能診断を行うことで劣化損傷度合いを把握し、適切な維持 管理、補修計画を立てることにより施設長寿命化を図るとともにライフサイクルコストの低減 を図る。					
本年度要求額	3, 962		【事業の内容】 事業名 : 農山漁村地域整備交付金 地区名 : 鳥取地区					
	3, 962	その他財源の内駅 分担金 0 負担金 0 使用料 0	事業工期: 令和7年度 受益面積: 25.7ha 主要工事: 農道橋定期点検 7橋(天原橋、みらい橋、高橋、下西分橋、内海中8号農道 橋、尾崎橋、出合橋) 負担区分: 国50%、市50%					
財源 地方債 内配 一般財源	1, 981 0 0 1, 981	手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 線入金 0 簡収入 0	【事業の実績】 令和3年度~5年度 実績なし					
備考欄	3, 962	その他 0						



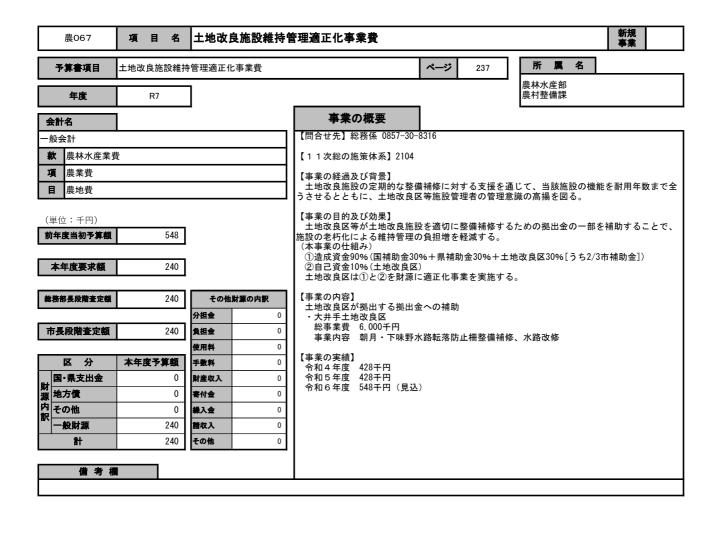
予算書項目 農道等維持管理費 ズージ 237 東東の概要 事業の概要 【問合せ先】基盤整備係 0857-30-8317 【1 1 次総の施策体系】2104 事業の経過及び背景】基幹農道等の管理が必要になっている。 事業の経過及び背景】基幹農道等の管理が必要になっている。 (単位:千円) 市が管理者として実施すべき農道の維持管理や安全に関する設置整備等により、利用者の安全な利用を確保する。 事業の内容】 ・農道等の維持管理費 ・農道等の安全確保・農道簡易修繕消耗品 事業の実績】 令和4年度 2.120千円 令和5年度 1.707千円 令和6年度 6.572千円(見込)	農062	項目名	農道等維持管理費					斯規 事業	
年度 R7 事業の概要 【問合せ先】基盤整備係 0857-30-8317 【1 1 次総の施策体系】2104 (事業費 [事業の経過及び背景] 基幹農道等の管理が必要になっている。 (単位:千円) 前年度当初予算額 6.572 本年度要求額 3.064 後務部長段階査定額 3.064 をの他財運の内駅 分担金 7412 ク担金 0 中間 (日本) 10 本年度要求額 3.064	予算書項目	農道等維持管理費			ページ	237	 -		\neg
一般会計	年度	R7			_				
区分 本年度予算額 財産収入 の財産収入 地方債 のでの他 その他 446 耐力 2,618 計 3,064 (使用料 0	一般会計 教 農林水産業費 項 農業費 目 農地費 (単位:千円) 前年度当初予算額 本年度要求額 参務部長段階査定額 下長段階査定額 区 分 国・県支 地方債 その他 一般財源	6,572 3,064 3,064 3,064 本年度予算額 0 0 446 2,618	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 線入金 157 諸収入 289	【問合せ先】基盤整備係(【11次総の施策体系】21 【事業の経過及び背景】 基幹農道等の管理が必要 【事業の目的及としする。 【事業の目的及としする。 【事業の再者としする。 【事業のの維持管理費・企業等の等のの維持管理費・通学簡易修繕消耗品 【事業の実績】 令和4年度 2,120千円令和5年度 1,707千円令和6年度 6,572千円※その他財源の繰入金は、	104 Eになっている でき 機道の組 (見込) 気高町奥沢見	持管理や安全		、利用者の)安



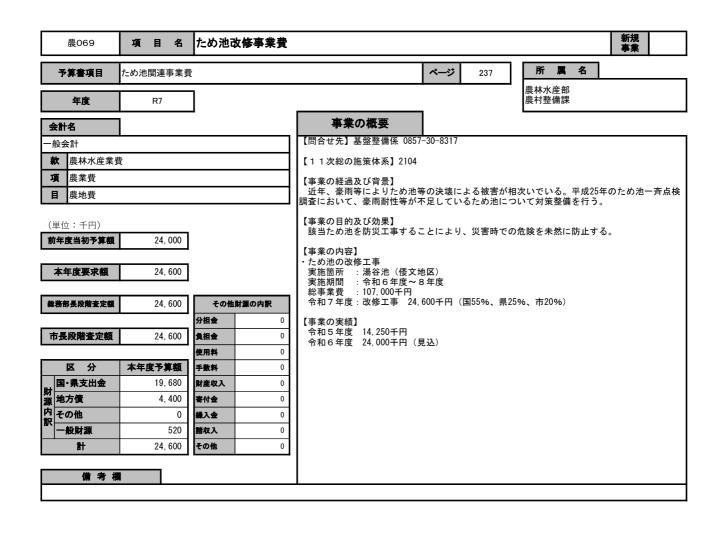
農064	項目名	市街地河川環境維	持事業費 新規 事業
予算書項目	市街地河川環境約	推持事業費	ページ 237 所 属 名
年度	R7		農村整備課
会計名 一般会計 款 農林水産業費 項 農業費 目 農地費	ł		事業の概要 【問合せ先】基盤整備係 0857-30-8317 【11次総の施策体系】2104 【事業の経過及び背景】 鳥取市を流れる一級河川山白川は、農業用水・生活用水双方にとって重要な機能を有してい
(単位:千円) 前年度当初予算額 本年度要求額	300		るため、管理を行う土地改良区にとっては負担が大きいものとなっている。 【事業の目的及び効果】 通水管理を行う土地改良区に対して、補助金を交付することで、農業用施設維持管理経費の負担を軽減を図る。 【事業の内容】 ・鳥取市市街地河川環境維持事業補助金 補助対象:大口堰土地改良区
裁務部長股階查定額 市長段階 <u>查</u> 定額	300	その他財源の内駅 分担金 0 負担金 0 使用料 0	(事業の実績) 令和4年度 263千円 令和5年度 265千円 令和6年度 300千円(見込)
区 分 国・県支出金 地方債 その他 一般財源	本年度予算額 0 0 0 0 300	手敷料 0 財産収入 0 寄付金 0 線入金 0 簡収入 0	
計 備 考 欄	300	その他 0	

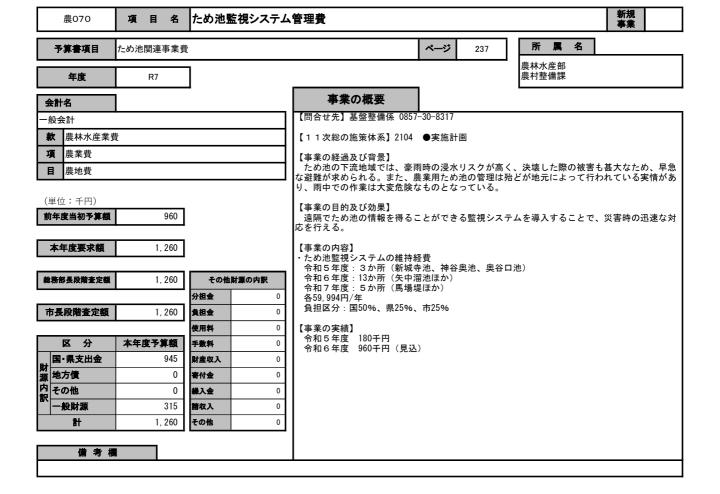
目 名 みんなで取り組む農山村保全活動支援事業費 農065 所 属 名 予算書項目 みんなで取り組む農山村保全活動支援事業費 ページ 237 農林水産部 年度 農村整備課 事業の概要 会計名 【問合せ先】総務係 0857-30-8316 -般会計 款 農林水産業費 【11次総の施策体系】2104 項 農業費 【事業の経過及び背景】 集落・地域だけでは農業生産基盤の維持管理が困難となってきている地域が増加しており、 目 農地費 閉塞感も高まっている。 【事業の目的及び効果】 集落・地域と自治会・企業等との協働による地域振興活動に対し、補助金を交付すること で、農業・農村の保全意識を高める。 (単位:千円) 前年度当初予算額 1,800 【事業の内容】 ・鳥取市共生の里加速化促進事業 補助対象:国府町楠城、気高町殿、上段 交付額 :600千円/年または210千円/年 財源 :県2/3、市1/3 本年度要求額 1,800 総務部長段階査定額 1,800 その他財源の内訳 分担金 【事業の実績】 令和 4 年度 420千円 令和 5 年度 1,200千円 令和 6 年度 1,800千円 (見込) 市長段階査定額 1,800 負担金 0 使用料 0 区分 本年度予算額 手数料 0 国·県支出金 1. 200 0 財産収入 財地方債 0 0 寄付金 その他 0 繰入金 0 一般財源 600 諸収入 0 1,800 0 計 その他 備考欄

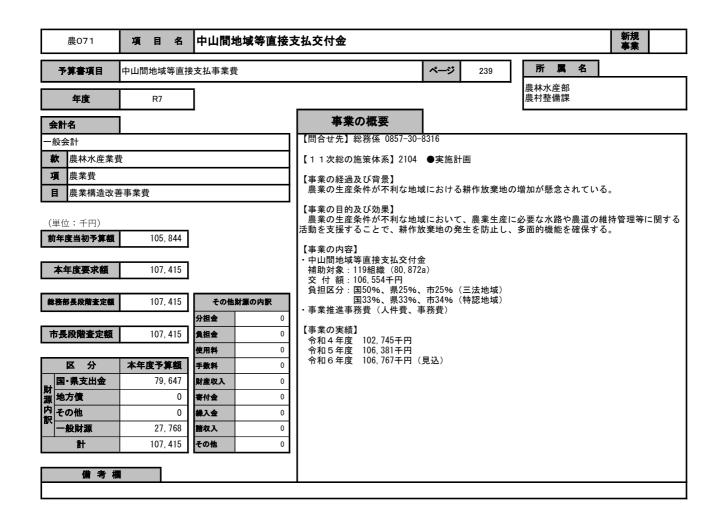
農066	項目名	農業水利	施設保全	高度化事業費			新規 事業 事業
予算書項目 農	業水利施設保全	≧高度化事業費	ŧ		ページ	237	所属名
年度	R7				_	•	農林水産部 農村整備課
会計名		_		事業の概要	1		•
				【問合せ先】基盤整備係 085	7-30-8317		
款 農林水産業費				 【11次総の施策体系】2104			
項 農業費				┃ 【事業の経過及び背景】			
目 農地費				農業の基礎的な生産基盤で			管理や、老朽化した農道、用排水路等の原
				業用施設全般の整備・補修が	求められる	0 0	
(単位:千円)				【事業の目的及び効果】	9944	- 乳竿の数件	を行うことで、効率的な農業運営・管理:
前年度当初予算額	132, 580			実現する。	力用排 水机	設守の笠浦	を11 グことで、効学的な展末連呂・官珪
				【事業の内容】			
本年度要求額	4, 500			· 大口堰土地改良区樋門新設		. +17.50	, III = 150()
-	-			事業費:4,500千円(国50%	5、県17.5	%、巾17.5%	5、地元15%)
総務部長段階査定額	4, 500	その他財	源の内訳	【事業の実績】 令和4年度 3,784千円			
		分担金	0	令和5年度 4,114千円			
市長段階査定額	4, 500	負担金	675	令和6年度 132,580千円	(見込)		
		使用料	0	※その他財源の負担金は、地	元負担金		
	年度予算額	手数料	0				
国•県支出金	3, 037	財産収入	0				
濵 地万價	700	寄付金	0				
内 その他 訳	675	繰入金	0				
一般財源	88	諸収入	0				
計	4, 500	その他	0				



農 068 項目名	危険ため池廃止事業費
予算書項目 ため池関連事業費	ページ 237 所 属 名
年度 R7	農林水産部農村整備課
会計名般会計 款 農林水産業費 項 農業費 目 農地費 (単位:千円) 前年度当初予算額 9,500 本年度要求額 11,000	事業の概要 【問合せ先】基盤整備係 0857-30-8317 【1 1 次総の施策体系】2104 ●実施計画 【事業の経過及び背景】 平成30年7月豪雨では、広島県を中心として32か所のため池が決壊し、ため池の下流に大きな被害を与えた。ハード・ソフト両面からの災害に強い地域づくりを推進する必要がある。 【事業の目的及び効果】 使われていない危険ため池を廃止し、地域の防災・減災対策を図る。 【事業の内容】 防災重点ため池の未利用のため池について、地元から要望のあるものを廃止する・ため池廃止工事 11,000千円 (菖蒲谷池、報徳1) 【事業の実績】 令和4年度 0千円
************************************	その他財源の内配 今和4年度 0千円 分担金 0 負担金 0 使用料 0 審付金 0 糖入金 0 糖収入 0 その他 0







年度 R:	7	農林水産部 農村整備課
会計名 ・ 般会計 数 災害復旧費 項 災害復旧費 日 目 農林水産業施設災害復 (単位:千円) 前年度当初予算額 1,13 本年度要求額 35 総務部長段階査定額 35 市長段階査定額 35 区分本年度予算 本年度予算 地方債 4	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	書業の概要 【問合せ先】基盤整備係 0857-30-8317 【1 1 次総の施策体系】2104 【事業の経過及び背景】 令和5年台風第7号により農地・農業用施設が被災を受けた。 【事業の目的及び効果】 農業経営への影響を最小限に留めるため、可能な限り早期に工事を行い、災害からの復旧を図る。 【事業の内容】 ・補助災害復旧事業 351,860千円 【事業の実績】 令和5年度 541,246千円 令和6年度 1,134,355千円(見込) ※その他財源の負担金は、地元負担金

項 目 名 補助災害復旧費【令和5年台風第7号関連】

農072

新規事業

農073	項目名	単独災害	复旧費【令	\$和5年台風第7号関連】 新規 事業
予算書項目	過年発生災害復	日費		ページ 295 所 展 名
年度	R7	1		農林水産部 農村整備課
会計名		-		事業の概要
 -般会計				【問合せ先】基盤整備係 0857-30-8317
款 災害復旧費				【11次総の施策体系】2104
項 災害復旧費				 【事業の経過及び背景】
目 農林水産業が	施設災害復旧費			令和5年台風第7号により農地・農業用施設が被災を受けた。
(単位:千円) 前年度当初予算額	0			【事業の目的及び効果】 農業経営への影響を最小限に留めるため、可能な限り早期に工事を行い、災害からの復旧を図る。 【事業の内容】
本年度要求額	55, 860			・単独災害復旧事業 55,860千円 【事業の実績】
総務部長段階査定額	55, 860	その他財源	原の内訳	令和5年度 259,478千円 令和6年度(繰越) 471,798千円(見込)
		分担金	0	※その他財源の負担金は、地元負担金
市長段階査定額	55, 860	負担金	558	
		使用料	0	
区分	本年度予算額	手数料	0	
国·県支出金 地士海	0	財産収入	0	
地方債	55, 300 558	寄付金 繰入金	0	
・ 一般財源	200	諸収入	0	
計	55, 860	その他	0	
H.I	33,300			
備考根				